

は　じ　め　に

昭和 23 年 4 月、1 台の救急車により開始した本市の救急業務は、市民に欠くことのできない行政サービスとして定着し、令和 4 年 4 月 1 日現在、消防局、25 消防署、26 出張所に 71 救急隊を分散配置し、各種の救急需要に備えています。

令和 4 年の出場件数は 24 万 4,254 件で、搬送人員にあつては 18 万 6,256 人となりました。これは救急車が 2.2 分に 1 件出場し、市民 14.8 人に 1 人が救急車によって医療機関等へ搬送されたことになります。

こうした中で、平成 8 年度に救急救命士の常時乗車体制を確立するとともに、メディカルコントロール体制のもと、医師や指導救命士による救急救命士の生涯教育体制や事後検証体制の確立など、救急業務の質的向上を図っています。

平成 21 年 10 月には「救急安心センター」を開設し、専用回線（＃7119 つながらない場合は、06 - 6582 - 7119）を設けて看護師が医師の支援体制のもと 24 時間・365 日、市民の方からの救急医療相談や救急病院の問合せなどに対応しており、救急医療相談の結果、緊急性の高い症状の場合には、速やかに救急車を出場させる体制を整備しています。

救命効果の向上を図るため、平成 6 年度から救命講習会を開催してきましたが、より受講しやすい体制として繰り返し学んでいただくために、パソコンやスマートフォンで学べるWEBサイトを平成 24 年 10 月に開設しました。また、119 番受信時に指令係員が応急手当の方法を指導するなど、救命効果を高めるための取組みを行っています。

さらに、救急活動記録等のデータを分析し、ケガや病気の発生原因や傾向、予防策などを市民の方に情報提供し、「少しの注意と心がけ」で事故や病気を未然に防ぐことを目的として「予防救急」の普及啓発に努めています。

平成 25 年 2 月、救急隊がスマートフォンアプリを用いて、リアルタイムに医療機関の受け入れ情報を受信するとともに、傷病者の観察項目を入力することにより、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」を導入し、迅速かつ的確な傷病者の搬送に努めています。

一方で、ICT に関する取組を実施しており、平成 27 年 9 月から、子供が突然の病気やケガをした場合に自ら緊急性の判断ができる「小児救急支援アプリ」を、平成 30 年 4 月から、目の前で人が倒れた時、ためらわずに応急手当の実施を支援することができる「救命サポートアプリ」を運用しています。

今後も、消防と医療機関だけでなく、市民の皆さんとともに尊い命を守るための体制づくりや、救急業務の推進に一層の努力を傾注し、市民の皆さんの信頼と期待に応えていきます。

ここに、令和 4 年中の救急業務の実態をまとめましたので、より多くの皆さんに救急業務を理解していただくためにご活用いただければ幸いです。

令和 5 年 3 月

大 阪 市 消 防 局

目 次

救 急 体 制 等

1. 救急体制の現況	3
2. 救急医療体制の現況	4
3. 救急医療情報	4
4. 救急隊員の教育等	5
5. 救急救命士制度の運用	6
6. 指導救命士制度の運用	7
7. 応急手当の普及啓発	8
8. 救急安心センターおおさか	10
9. 小児救急支援アプリ	11
10. 救命サポートアプリ	11
11. 予防救急	12
12. 患者等搬送事業の認定と指導	12
13. 関係機関等との協調	12
図1 救急医療情報システム概要図	13
表1 救急隊配置状況	14
表2 救急活動用資器材	15
表3 二次・三次救急医療機関	16
表4 初期救急医療機関	18
表5 休日・夜間緊急歯科診療所	18
表6 二次・三次救急医療機関の推移	18

救 急 活 動

1. 救急活動状況	21
2. 事故種別救急活動状況	22
3. 救急救命士活動状況と救命率	24
4. 救急出場件数の高順位	26
5. 時間別出場件数	27
6. 救急活動所要時間	28
7. 程度別搬送状況	29
8. 性別・年齢層別搬送状況	30
9. 医療機関開設主体別搬送状況	32
10. 転院搬送状況の推移	32
11. 転送状況の推移	33
12. 要保護傷病者搬送状況の推移	34

救 急 安 心 セ ン タ ー お お さ か

1. 救急安心センター利用状況	37
2. 医療機関案内の診療科目別状況	38

3. 救急医療相談状況	39
-------------	----

統 計 表

(参考) 事故種別区分表	42
第1表 事故種別救急活動状況	43
第2表 隊別救急活動状況	44
第3表 月別救急活動状況	46
第4表 月別出場件数及び搬送人員	47
第5表 行政区別救急活動状況	48
第6表 平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員	50
第7表 曜日別、時間別出場件数及び搬送人員	52
第8表 事故種別出場件数及び搬送人員	54
第9表 日別出場件数	55
第10表 発生場所別救急活動状況	56
第11表 活動区分別出場件数	57
第12表 理由別不搬送件数	57
第13表 医療機関開設主体別搬送人員	58
第14表 傷病程度別搬送人員	59
第15表 診療科目別搬送人員	59
第16表 傷病種別搬送状況	60
第17表 年齢層別搬送人員	62
第18表 性別、事故種別搬送人員	62
第19表 所要時間別搬送人員	63
第20表 転院搬送人員	63
第21表 理由別転院搬送人員	63
第22表 診療科目別転送状況	64
第23表 理由別転送回数	64
第24表 回数別転送状況	64
第25表 要保護傷病者搬送状況	65
第26表 救急車走行距離及び所要時間	66
第27表 覚知方法別受信件数	68
第28表 P A連携活動支援種別状況	68
第29表 他市町村との協力状況	68
第30表 応急手当普及啓発の実施状況	68
第31表 救急活動状況の推移	69
第32表 年別救急活動状況	70

参 考 資 料

昭和 50 年以降の特異救急事故	73
大阪市消防（救急関連）のあゆみ	75

※数値は、少数点第 2 位を四捨五入しており、内訳の合計が異なる場合があります。

救 急 体 制 等

1. 救急体制の現況

大阪市の推計人口（令和4年12月1日）

人	口	2, 7 5 8, 0 1 3人
面	積	2 2 5. 3 3 k m ²

救急業務実施体制（令和4年10月1日）

救 急 隊 数	7 1 隊
救 急 隊 員	7 0 9 人

救急活動状況（令和4年中）

出 場 件 数	2 4 4, 2 5 4 件
搬 送 人 員	1 8 6, 2 5 6 人

当局では、救急部救急課において、救急業務に係る企画及び調査に関すること、救急隊の運用に関すること、救急医療機関等との連絡調整に関すること、予防救急や応急手当の普及啓発に関すること、救急車及び救急資器材に関することなど、救急に関する事務を所管し、救急事案の通報の受信、出場指令、その他救急活動に関する管制業務は警防部司令課が所管している。

救急隊は、令和4年4月1日現在、消防局、25 消防署、26 出張所に71 隊を配置して、市民の救急要請に応えるとともに、救急救命士の計画的な養成を行い、全救急隊に常時乗車する体制を確立し、平成29年6月から、消防隊が行う救急隊との連携活動（PA 連携活動）に、心肺機能停止傷病者の救急要請時に自動体外式除細動器（AED）を積載する消防隊が救急隊と同時出場し、早期の電気ショックを含む応急処置の実施及び救急隊の救急救命処置を支援する活動（救命連携活動）を加えることによって救急活動の充実強化を図り、救命効果の向上を目指す体制を構築した。

さらに、救急救命士の活動や拡大された応急処置等を的確に実施するため、常に最新の救急資器材の整備や見直しに努めている。

2. 救急医療体制の現況

市内の救急医療体制は、外来診療によって救急患者の医療を担当する初期救急医療機関、入院治療を必要とする救急患者の医療を担当する二次救急医療機関、複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する三次救急医療機関により構成されている。

【初期救急医療機関】 7 か所

- ・大阪市中央急病診療所、休日急病診療所（6 か所）

【二次救急医療機関】 93 か所

- ・救急病院、救急診療所

【三次救急医療機関】 6 か所

- ・救命救急センター

※二次・三次救急医療機関の内、5 医療機関が「二次救急医療機関かつ三次救急医療機関」であり、大阪市内の二次・三次救急医療機関数は 94 医療機関となる。（16 ページ表 3 参照）

3. 救急医療情報

救急医療情報は、昭和 54 年度から大阪府救急医療情報システムと当局の「消防指令情報システム」が接続されたことにより、医療機関に設置された大阪府救急医療情報システムの端末機から入力された医療情報を、中継コンピューターを介して当局のシステムに導入し、活用している。

その情報内容は、診療科目（30 科目）ごとの診療可否状況、男女別空床の有無及び手術の可否状況であり、医療機関が診療態勢変更のつど入力することで最新の情報を得ることができる。

大阪市内の医療情報は端末機が設置されている市内の 94 医療機関をはじめ、大阪府内全域の主要な医療機関を含めた、286 医療機関の情報を入手している。

また、救急隊は平成 25 年 2 月より、スマートフォンを活用し、大阪府内で統一された「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」の運用を行っており、医療機関情報をリアルタイムで入手して活動している。

4. 救急隊員の教育等

当局における救急隊員の養成は、救急業務法制化当時から行ってきたが、平成3年の救急救命士法の施行及び消防学校の教育訓練の基準等の一部改正に伴い、救急隊員教育の充実を図っている。

また、救急隊員教育の更なる充実を図るため、大阪府医師会をはじめとする関係機関の協力のもと、平成15年2月に大阪市地域メディカルコントロール協議会（現：大阪府大阪市地域メディカルコントロール協議会）が発足し、救急救命士養成教育や生涯教育、救急活動の事後検証体制などの救急隊員教育全般の整備を図り、充実強化に努めている。特に、救急救命士の生涯教育については、単位制を導入し病院実習を中心に救急専門医の指導のもと、症例検討会、集中講義、救急救命技術研修会等を実施している。

(1) 救急教育実施状況（令和4年度中 ※修了見込み人員を含む）

ア 救急隊員資格教育	136 名
イ 救急救命士資格取得教育（養成期間：令和4年9月～令和5年3月） （他都市の救急隊員 70 名を含む）	100 名
ウ 気管挿管病院実習	14 名
エ ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習	17 名

(2) 救急救命士等の隊員教育（令和4年度中）

ア 症例検討会（10 か所の救急医療機関で実施）
イ 集中講義（5回）
ウ 生涯教育病院実習（日勤） （1年間で日勤2日間の病院実習を6か所の救急医療機関で実施）
エ 生涯教育病院実習（日勤・ドクターカー） （1年間で日勤2日間のドクターカー同乗研修を含む病院実習を1か所の救急医療機関で実施）
オ 救急救命技術研修会
カ 学術集会等への参加 （全国救急隊員シンポジウム、日本臨床救急医学会、近畿救急医学研究会等への参加）
キ 指導救命士による実地研修（On the Job Training）
ク 指導救命士による救急隊員研修（集合研修）

5. 救急救命士制度の運用

当局では、平成4年7月1日に41名の救急救命士が活動を開始し、令和5年3月1日現在、救急救命士数は623名となっている。うち、470名の救急救命士が救急隊員として救急業務に従事しており、全救急隊に救急救命士が常時乗車する体制としている。

また、救急救命士法施行規則等関係法令の一部改正に伴い、救急救命処置のなかでも特に高度な処置である気管内チューブによる気道確保については平成16年7月から、薬剤（アドレナリン）投与については平成18年4月から、所管省庁通知に定められた講習及び病院実習を修了する等の諸条件を満たした救急救命士が、医師の具体的指示下で行えることとなった。

令和5年3月1日現在、薬剤（アドレナリン）投与を行うことが認定された救急救命士は543名、そのうち336名は気管内チューブによる気道確保も行えるものとして認定されている。

さらに、平成26年10月から、必要な講習を受けた救急救命士により、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を実施しており、496人の救急救命士が認定されている。

(1) 救急救命士が行う救急救命処置

ア 救急隊員であれば行うことができる処置

イ 医師の包括的な指示の下で行うことができる処置

- 自動体外式除細動器（AED）による除細動
- 自己注射が可能なエピペン®製剤によるエピペン®投与
- 血糖測定器を用いた血糖測定 など

ウ 医師の具体的な指示の下で行うことができる処置

（ア）心肺機能停止状態の傷病者に対して行う処置

- 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスクまたは気管内チューブによる気道確保（ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管を含む）

※食道閉鎖式エアウェイまたはラリングアルマスクによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が呼吸機能停止状態又は心臓機能停止の状態であること。また、気管内チューブによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止状態及び呼吸機能停止の状態であること。

- アドレナリンを用いた薬剤の投与

※アドレナリンを用いた薬剤の投与は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止の状態であること。

（イ）心肺機能停止前の傷病者に対して行う処置

- 重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液
- 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

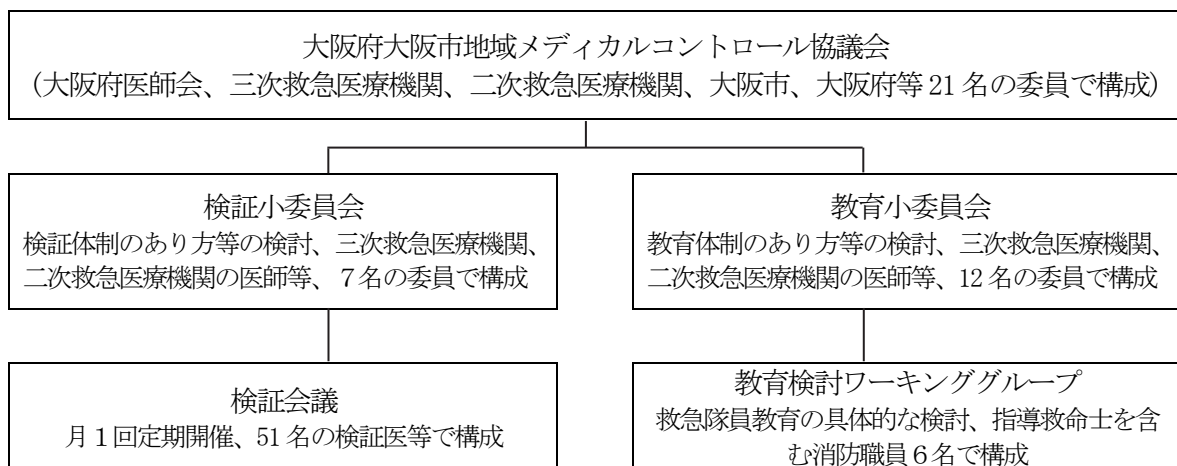
(ウ) 指示医療機関

- 大阪市立総合医療センター
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 大阪急性期・総合医療センター
- 大阪赤十字病院
- 大阪警察病院
- 国立病院機構大阪医療センター
- 大阪大学医学部附属病院

(2) メディカルコントロール体制

メディカルコントロールとは、医学的な観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証することを言い、応急処置の質を向上させ、救急救命士の処置範囲の拡大等、大阪市域における救急業務の更なる高度化を図ることにより、傷病者の救命効果の向上を目指すものである。そのために、当局では次の4つの項目を整備し、メディカルコントロールの確立を図っている。

- ① プロトコルの作成
- ② 医師から救急隊員に対する指示、指導・助言体制
- ③ 医師による救急活動の医学的な観点からの事後検証体制
- ④ 救急救命士の生涯教育体制



6. 指導救命士制度の運用

指導救命士とは、救急業務に関する十分な知識、技術及び経験を有し、医療と連携を図り救急隊員教育を行うことができる救急救命士として、大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会から認定を受けた者である。また、メディカルコントロール体制の中で、救急救命士を含む救急業務に従事する職員への教育・指導、メディカルコントロール協議会及び医療機関との調整等の役割を担い、救急業務全体の質の向上に寄与している。当局では、平成 29 年 5 月から運用を開始し、令和 5 年 3 月 1 日現在、16 名の指導救命士が活動している。

7. 応急手当の普及啓発

(1) 応急手当普及啓発実施状況

当局では、平成6年度から傷病者の救命効果の向上を図るため、普通救命講習（3時間）、上級救命講習（8時間）及び応急手当普及員講習（24時間）の講習会を開催し、応急手当に関する知識と技術の普及啓発を実施している。

応急手当の着手率アップが救命率向上に有用であることから、受講しやすい体制を整備することや、受講者のすそ野を広げ（概ね10歳以上）、幅広い年代層が繰り返し応急手当を学べる環境をつくることを目指して、胸骨圧迫やAEDに要点を絞った「救命入門コース（90分）」を平成24年11月から開始し、さらに、パソコンやスマートフォンの画面を操作することで、応急手当の知識や手順を学べる体験型アプリを作成し、平成24年10月からWEB公開（令和4年12月末で延べ約3,200万アクセス）するなど、積極的な普及啓発活動に努めている。

【WEBサイト『ボジョレーに教わる救命ノート』 <https://www.119aed.jp>】

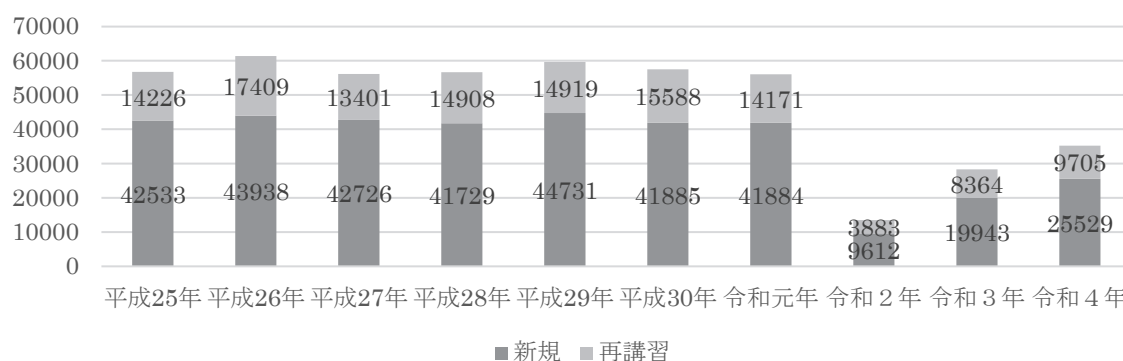
令和4年中 応急手当講習実施状況

講習種類	実施回数(回)	新規(人)	再講習(人)	年中延べ(人)	延受講者(人)
計	2,132	25,529	9,705	35,234	1,288,038
救命入門コース	213	3,851	—	3,851	58,251
普通救命講習	886	9,223	4,386	13,609	859,513
上級救命講習	74	993	240	1,233	32,943
応急手当普及員講習	34	550	—	550	15,934
応急手当普及員再講習	73	—	1,185	1,185	21,244
応急手当普及員が実施した講習	850	10,782	3,894	14,676	294,191
応急手当指導員講習	2	130	—	130	5,962

※年中延受講者数は、再受講者等を含む。

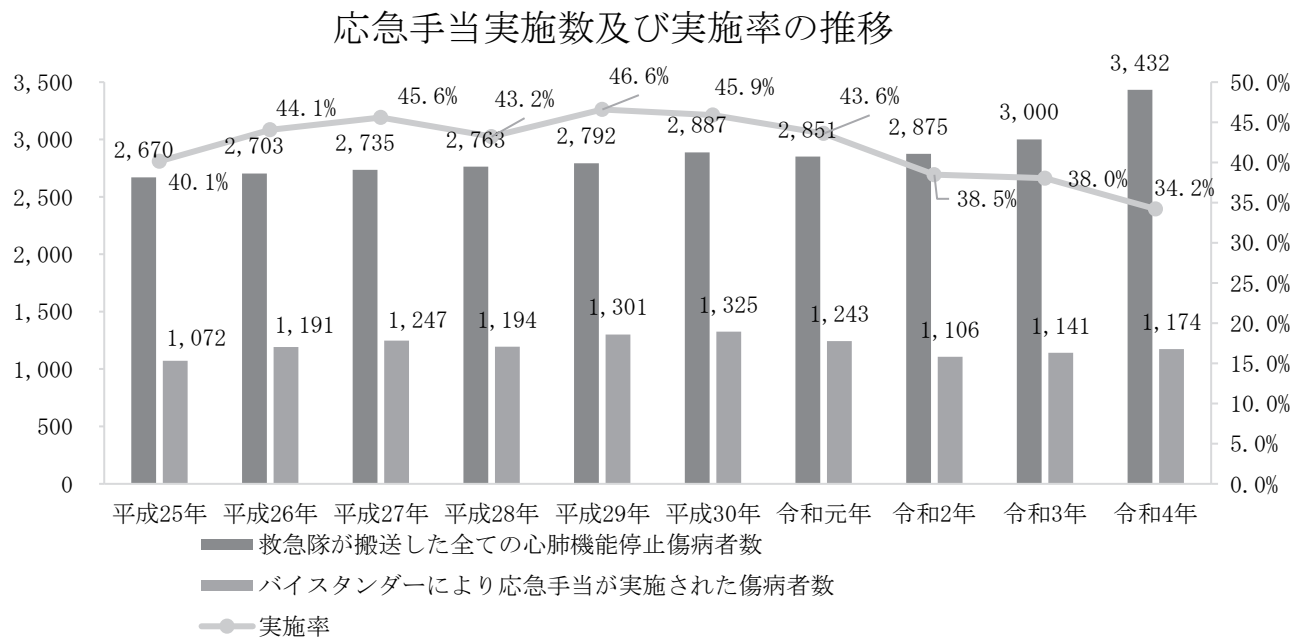
※延受講者数は平成6年4月1日から令和4年12月末までの総受講者数。

過去10年間に於ける応急手当講習修了者数の推移

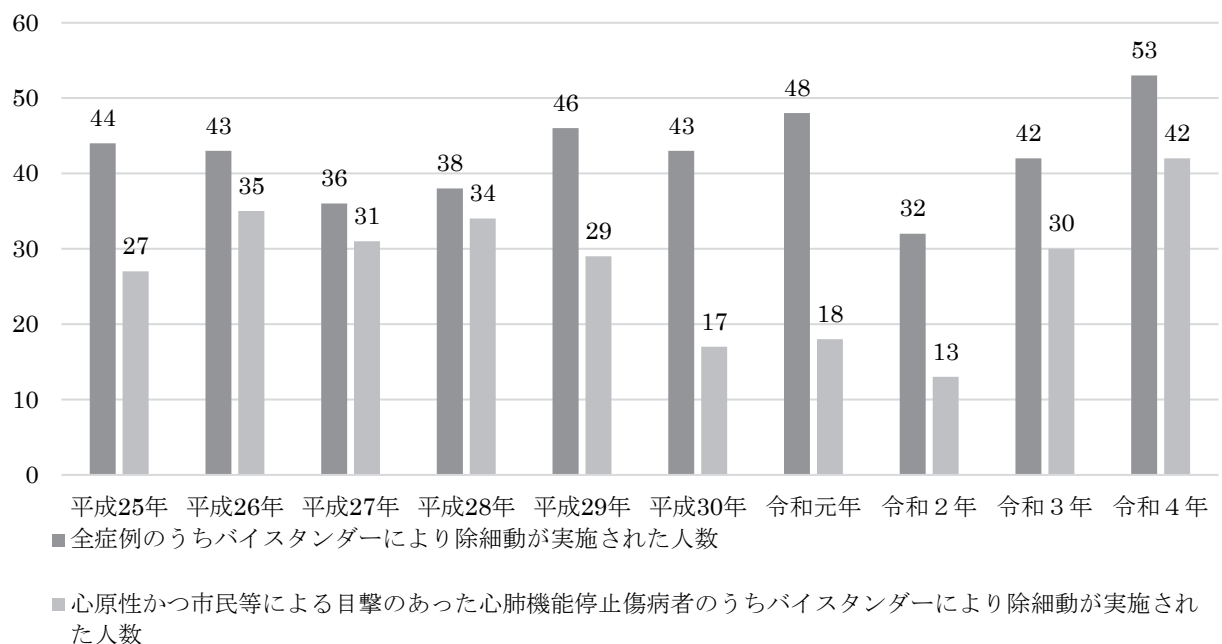


(2) 応急手当実施率

心肺機能停止傷病者の救命においては、救急隊が到着するまでの間に、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）により早期に応急手当が実施されることが重要である。令和4年中にバイスタンダーによる応急手当が実施された傷病者数は、救急隊が搬送した全ての心肺機能停止傷病者の34.2%に当たる1,174人となっている。



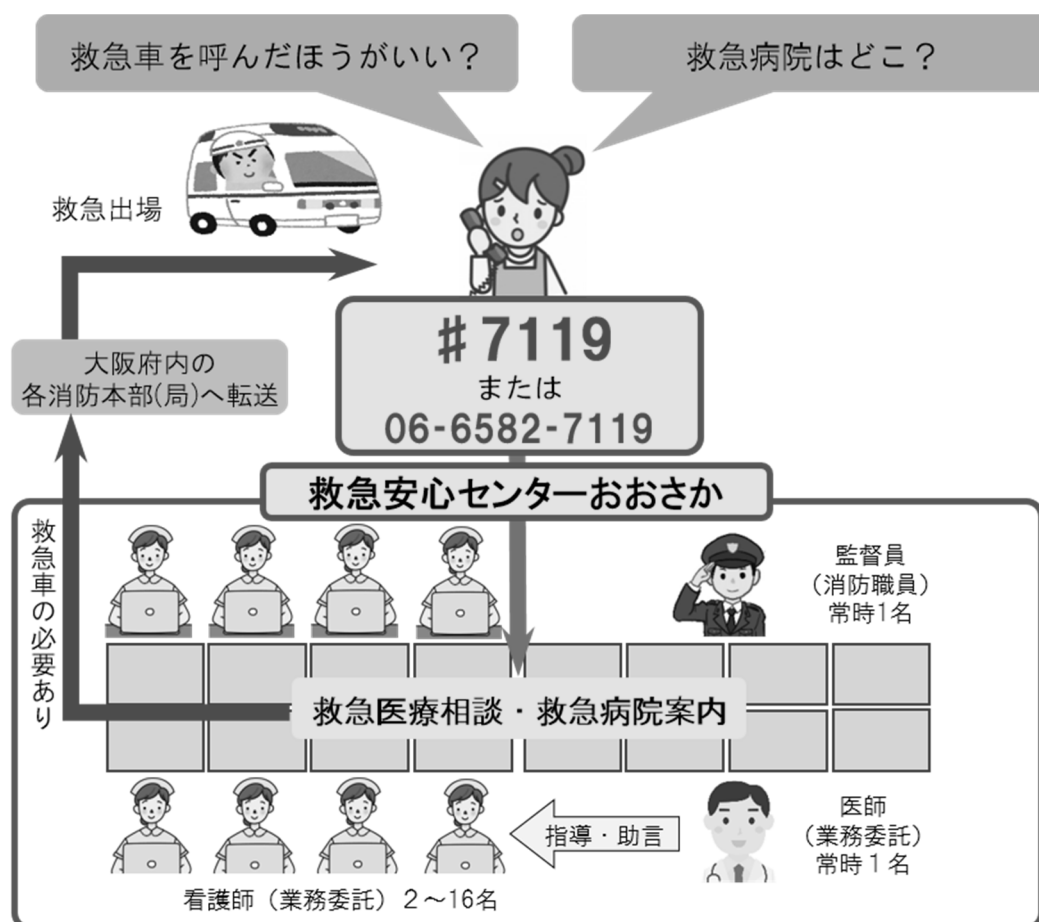
バイスタンダーによるAEDを使用した除細動実施数の推移



8. 救急安心センターおおさか

救急安心センターおおさかは、突然の病気やケガで、救急車を呼んだ方がいいのか？病院に行った方がいいのか？近くの病院はどこ？応急手当の方法は？など、判断に迷ったときにアドバイスを受けることができる電話相談窓口として、平成 21 年 10 月 1 日から大阪市消防局内に開設し、平成 22 年 12 月 1 日以降は、大阪府内全市町村の共同運営によって対象地域を大阪府内全域に拡大している。

救急安心センターおおさかでは、専用電話回線（#7119 または場合は、06-6582-7119）により、大阪府域住民からの救急医療相談及び医療機関等の問合せに、開設以来、相談員及び看護師が医師の支援体制のもと 24 時間 365 日体制で対応してきたが、年々増加する救急医療相談に適切に対応するため、令和 2 年 4 月からはすべての着信に看護師が直接対応する体制に改めた。それにより相談時間が短縮され、緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにすることに加え、住民が適切なタイミングで医療機関を受診できるよう支援することによって、自覚症状の乏しい潜在する重症者を救護し、一人でも多くの住民に安全・安心を提供している。



9. 小児救急支援アプリ

大切なお子様が突然の病気やケガをした場合に、市民が自ら緊急性の判断をできるようなシステムを構築することを目的に、次の関係機関と共同でスマートフォン専用の無料アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を研究・開発し、大阪市内を対象地域として、平成 27 年 9 月 9 日から運用を開始した。

その後、平成 28 年 3 月 1 日から iPhone 版の運用を開始し、平成 28 年 4 月 1 日からは、救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大している。

このアプリの特長としては、「救急車を呼んだ方がいい?」「近くの医療機関はどこ?」など困ったときに、アプリ画面に表示される症状をチェックすることで誰でも簡単に「緊急性」を判断することができ、緊急性が高い場合は 119 番通報を、また 119 番通報をためらった場合でも救急安心センターおおさかへ相談するよう促すなど利用者が次にとるべき受診行動に素早く誘導することができるというものである。さらに、緊急性が低い場合でも、症状に応じた近くの医療機関（大阪府内）を地図に表示して案内することができるものである。

（利用料無料、通信料別途必要）

<共同研究・開発機関>

- ◇ 大阪大学医学部 ◇ 大阪市立大学医学部
- ◇ 大阪市消防局 救急部救急課

[平成 27 年度（一財）救急振興財団研究事業]

利用状況（平成 27 年 9 月 9 日～令和 4 年 12 月 31 日）

ダウンロード数	アクセス数	アクセス後の行動内容						
		119 番	#7119	#8000	医療機関 検索	科目検索	様子を みる	合計
48,685	144,717	291	6,903	79	23,327	4,090	6,080	40,770

※「アクセス数」と「アクセス後の行動内容」の合計が一致しないのは、利用者がアクセスはしたものの、表記カテゴリーのボタンを押下する前に、アプリ操作を終了したことが原因であると推測される。

10. 救命サポートアプリ

心肺停止事案に遭遇した時に、ためらわずに正しい応急手当を実施できるように、その行動をサポートするツールがあればという職員の発案から生まれた無料アプリで、平成 30 年 4 月から Android 版、同年 6 月から iOS 版の運用を開始した。

アプリをスマートフォンにダウンロードしておくと、2 タップで動画が再生され、映像と

音声で応急手当の方法を案内してくれるので、画面を見ながら正しい応急手当を実施することができる。

成人、小児、乳児と3バージョンの動画があり、応急手当を行う対象者によって選択が可能である。

11. 予防救急

予防救急とは、高齢化の進展にともない救急件数が増加している中、安全だと思いがちな家庭内での転倒・転落によるケガや熱中症などの疾病を、「少しの注意と心がけ」で未然に防ぐことを目的としている。そのために救急隊の救急活動記録等のデータを分析し、発生原因や傾向、予防策を導き、ラジオや新聞をはじめとする様々な媒体や、救命講習会、防火訪問などの機会を通じて市民に情報提供し、さらなる安心・安全を推進する施策であり、あわせて救急出場件数の抑制も図っている。

12. 患者等搬送事業の認定と指導

患者等搬送事業は、救命処置など緊急性を必要とする消防の救急とは異なり、原則として緊急性を必要としない傷病者や障がい者、高齢者などに対し、民間の事業者が搬送用自動車を使用して移動手段を提供する事業である。

平成5年6月、当局は患者等の安全を確保するため、「患者等搬送事業の指導及び認定に関する要綱」を定めて、消防機関との連絡体制、乗務員に対する応急手当の講習、患者等搬送用自動車の構造など、一定の基準に適合する患者等搬送事業の認定を行うとともに必要な指導にあたっており、令和5年3月1日現在、28社を認定している。

なお、当局が認定した上記の事業所が利用者の安全とサービスの向上を目指して、平成6年11月1日に「大阪市患者等搬送事業者協会」を設立し、現在は5社が加盟している。

また、平成8年8月29日に当局と同協会の間で、「震災等大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定書」を締結し、大規模災害時の搬送体制の強化を図っている。

13. 関係機関等との協調

救急業務の円滑な推進を図るためには、消防機関、医療機関、他の行政機関等が一体となって協調することが必要である。

当局では、「大阪府救急医療対策審議会」、「大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会」、「大阪府大阪市地域メディカルコントロール協議会」等に参画して、救急医療体制の整備及び、救急救命士をはじめとする救急隊員の教育等を検討する一方、大阪府医師会、大阪市救急医療事業団、日本赤十字社大阪府支部、その他関係機関と常に連絡調整を図っている。

図1 救急医療情報システム概要図

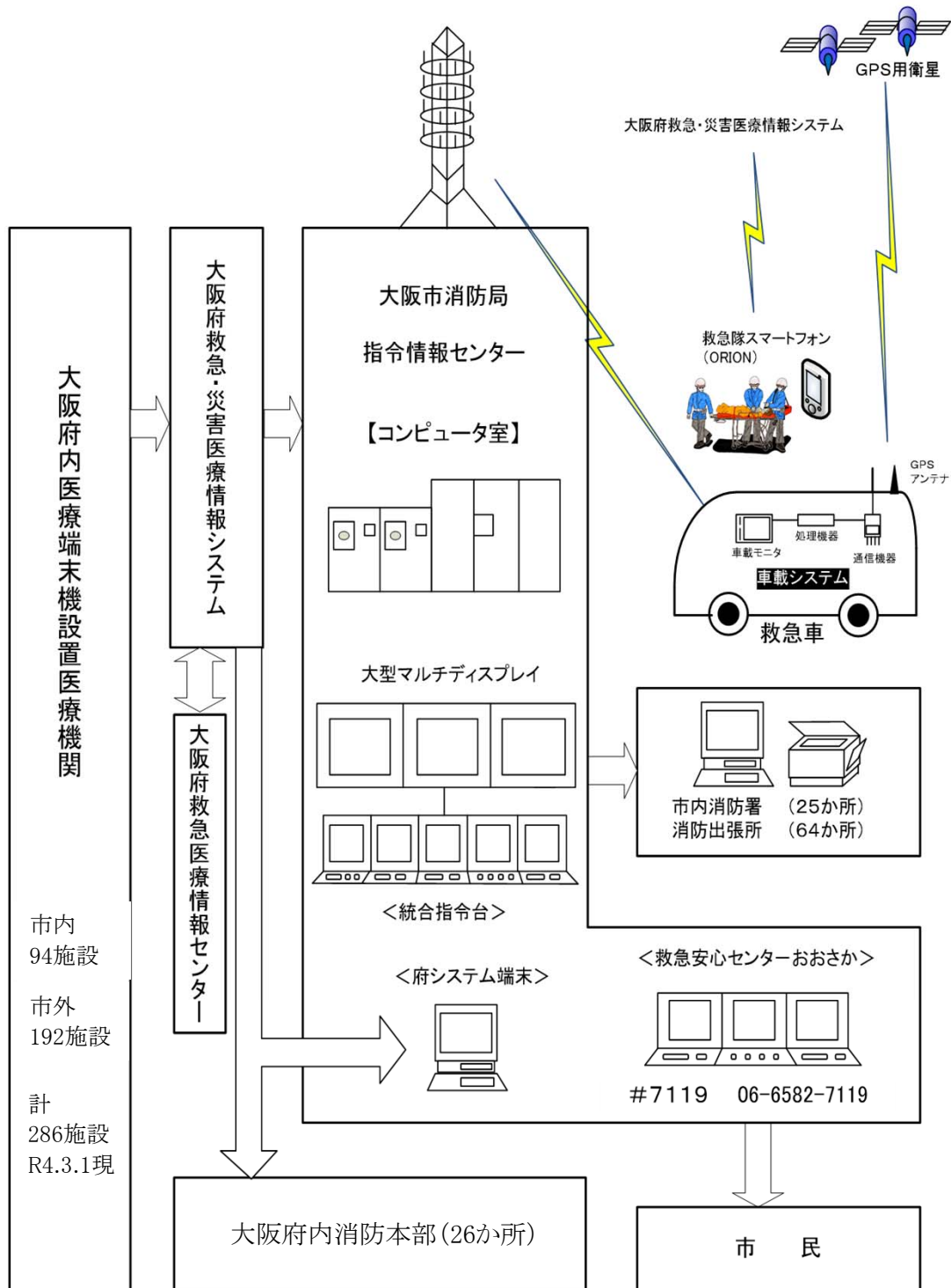


表1

救急隊配置状況(令和4年4月1日現在)

救 急 隊 名	配 置 署 所	救 急 隊 名	配 置 署 所
本部指導第1救急隊	消防局	東 成 第 1 救 急 隊	東成消防署
本部指導第2救急隊	消防局 九条庁舎	東 成 第 2 救 急 隊	〃
本部機動第1救急隊	〃	生 野 救 急 隊	生野消防署
本部機動第2救急隊	福島消防署 上福島出張所	中 川 救 急 隊	〃 中川出張所
北 救 急 隊	北消防署	巽 救 急 隊	〃 巽出張所
南 森 町 救 急 隊	〃 南森町出張所	旭 第 1 救 急 隊	旭消防署
浮 田 救 急 隊	〃 浮田出張所	旭 第 2 救 急 隊	〃
大 淀 町 救 急 隊	〃 大淀町出張所	城 東 第 1 救 急 隊	城東消防署
都 島 第 1 救 急 隊	都島消防署	城 東 第 2 救 急 隊	〃
都 島 第 2 救 急 隊	〃	中 浜 救 急 隊	〃 中浜出張所
東 野 田 救 急 隊	〃 東野田出張所	鶴 見 第 1 救 急 隊	鶴見消防署
福 島 救 急 隊	福島消防署	鶴 見 第 2 救 急 隊	〃
海 老 江 救 急 隊	〃 海老江出張所	阿 倍 野 第 1 救 急 隊	阿倍野消防署
此 花 第 1 救 急 隊	此花消防署	阿 倍 野 第 2 救 急 隊	〃
此 花 第 2 救 急 隊	〃	阪 南 救 急 隊	〃 阪南出張所
中 央 救 急 隊	中央消防署	住 之 江 第 1 救 急 隊	住之江消防署
道 頓 堀 救 急 隊	〃 道頓堀出張所	住 之 江 第 2 救 急 隊	〃
上 町 救 急 隊	〃 上町出張所	南 港 救 急 隊	〃 南港出張所
西 救 急 隊	西消防署	住 吉 第 1 救 急 隊	住吉消防署
江 戸 堀 救 急 隊	〃 江戸堀出張所	住 吉 第 2 救 急 隊	〃
新 町 救 急 隊	〃 新町出張所	苅 田 救 急 隊	〃 苅田出張所
港 救 急 隊	港消防署	東 住 吉 第 1 救 急 隊	東住吉消防署
大 正 救 急 隊	大正消防署	東 住 吉 第 2 救 急 隊	〃
天王寺第1救急隊	天王寺消防署	杭 全 救 急 隊	〃 杭全出張所
天王寺第2救急隊	〃	平 野 第 1 救 急 隊	平野消防署
浪速本署第1救急隊	浪速消防署	平 野 第 2 救 急 隊	〃
浪速本署第2救急隊	〃	長 吉 救 急 隊	〃 長吉出張所
恵 美 須 救 急 隊	〃 恵美須出張所	喜 連 救 急 隊	〃 喜連出張所
浪速出張所救急隊	〃 浪速出張所	西 成 第 1 救 急 隊	西成消防署
西 淀 川 救 急 隊	西淀川消防署	西 成 第 2 救 急 隊	〃
大 和 田 救 急 隊	〃 大和田出張所	海 道 第 1 救 急 隊	〃 海道出張所
淀 川 第 1 救 急 隊	淀川消防署	海 道 第 2 救 急 隊	〃 海道出張所
淀 川 第 2 救 急 隊	〃	津 守 救 急 隊	〃 津守出張所
加 島 救 急 隊	〃 加島出張所	水 上 救 急 隊	水上消防署
東 淀 川 救 急 隊	東淀川消防署		
小 松 救 急 隊	〃 小松出張所		
西 淡 路 救 急 隊	〃 西淡路出張所		

表2

救急活動用資器材

分 類	品 名	分 類	品 名
観 察 用 資 器 材	血圧計	保 温 ・ 搬 送 用 資 器 材	屈折担架
	血中酸素飽和度測定器		脚屈伸式ストレッチャー(メインストレッチャー)
	検眼ライト		ターボリン担架
	患者監視装置		まくら
	体温計		タオルケット
	聴診器		保温用毛布
	血糖値測定器		雨おおい
呼 吸 ・ 循 環 管 理 用 資 器 材	手動引金式人工呼吸器一式	感 染 防 止	陰圧式患者搬送器具一式
	手動式人工呼吸器一式		手袋
	自動式人工呼吸器一式	消 毒 用 資 器 材	マスク
	二連式流量計付加湿酸素吸入装置一式		N95マスク
	経鼻エアウェイ		ゴーグル
	経口エアウェイ		手動式噴霧消毒器
	ラリングアルマスク		救急車内消毒装置
	食道閉鎖式エアウェイ		グルコン酸クロルヘキシジン液
	気管内チューブ		消毒用エタノール液
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡		塩化ベンザルコニウム液
	喉頭鏡		クレゾール石けん液
	マギール鉗子		次亜塩素酸ナトリウム液
	吸引器一式		手指消毒液
	呼気二酸化炭素測定器具	そ の 他 の 資 器 材	膿盆
	自動式心マッサージ器		汚物入
	心肺蘇生用背板	通 信 ・ 救 出 用 資 器 材	手洗器
	自動体外式除細動器		シューズカバー
	輸液・薬剤セット一式	そ の 他 の 資 器 材	臍帯クリップ
			冷却剤
創 傷 等 保 護 用 資 器 材	陰圧副子	通 信 ・ 救 出 用 資 器 材	携帯無線機
	梯状副子		車載無線機
	頸部固定用副子	そ の 他 の 資 器 材	携帯電話(スマートフォン端末)
	バックボード		救命浮環
	スクープストレッチャー		救急カバン
	三角巾		リングカッター
	止血帯		防毒マスク
	伸縮包帯		保安帽
	網包帯		防刃ベスト
	救急タオル		トリアージタグ
	ばんそうこう		はさみ
	ターケット		ピンセット
	滅菌ガーゼ		
	不織布ガーゼ		
	生理食塩水		

表3

二次・三次救急医療機関(令和4年4月1日現在)

医 療 機 関	所 在 地	医 療 機 関	所 在 地
北区 加納総合病院 北野病院 済生会中津病院 桜橋渡辺病院 住友病院 行岡病院	天神橋7-5-15 扇町2-4-20 芝田2-10-39 梅田2-4-32 中之島5-3-20 浮田2-2-3	港区 大阪みなと中央病院	磯路1-7-1
都島区 □大阪市立総合医療センター 神原病院 協和病院 聖和病院 明生病院	都島本通2-13-22 高倉町1-10-5 東野田町5-2-25 中野町1-7-32 東野田町2-4-8	大正区 済生会泉尾病院 ほくとクリニック病院	北村3-4-5 三軒家西1-18-7
福島区 JCHO大阪病院 関西電力病院 大阪整形外科病院 フジタ病院 えびえ記念病院	福島4-2-78 福島2-1-7 大開4-3-61 吉野2-10-11 海老江2-1-36	天王寺区 第二大阪警察病院 ◇大阪警察病院 ◇大阪赤十字病院	烏ヶ辻2-6-40 北山町10-31 筆ヶ崎町5-30
此花区 大阪暁明館病院	西九条5-4-8	浪速区 愛染橋病院 富永病院 なにわ生野病院	日本橋5-16-15 湊町1-4-48 大国1-10-3
中央区 ◇国立病院機構大阪医療センター 大手前病院 脳神経外科日本橋病院 原田病院 高津病院	法円坂2-1-14 大手前1-5-34 高津3-2-22 島之内2-17-15 瓦屋町3-2-7	西淀川区 千船病院 西淀病院	福町3-2-39 野里3-5-22
西区 大阪掖済会病院 大野記念病院 多根総合病院 日本生命病院 吉川病院	本田2-1-10 南堀江1-26-10 九条南1-12-21 江之子島2-1-54 九条南3-29-14	淀川区 大阪回生病院 貴生病院 北大阪病院 十三市民病院	宮原1-6-10 西三国1-18-4 西宮原2-7-17 野中北2-12-27
		東淀川区 医誠会病院 淀川キリスト教病院	菅原 6-2-25 柴島1-7-50
		東成区 外科野崎病院 弘善会矢木脳神経外科病院 中本病院 東成病院 朋愛病院	深江南2-20-15 東今里2-12-13 中道4-13-12 大今里西2-7-17 大今里1-25-11

(注) □印は、三次救急医療機関

◇印は、二次救急医療機関かつ三次救急医療機関

医 療 機 関	所 在 地	医 療 機 関	所 在 地
生野区 アエバ外科病院 生野中央病院 育和会記念病院 共和病院 松崎病院 村田病院	勝山南4-6-5 中川5-4-2 巽北3-20-29 勝山南4-16-10 新今里7-4-8 田島4-2-1	住吉区 あびこ病院 ◇大阪急性期・総合医療センター 阪和住吉総病院 阪和記念病院 越宗整形外科病院	我孫子3-3-20 万代東3-1-56 南住吉3-2-9 荻田7-11-11 東粉浜3-26-6
旭区 大阪旭こども病院 福島病院 藤立病院 牧病院	新森4-13-17 千林2-4-22 大宮5-4-24 新森7-10-28	東住吉区 東住吉森本病院 東和病院	鷹合3-2-66 田辺4-13-15
城東区 済生会野江病院 サトウ病院 城東中央病院 東大阪病院 おおさかグローバル整形外科病院 森之宮病院	古市1-3-25 東中浜1-2-23 鴨野西5-13-47 中央1-7-22 関目6-15-30 森之宮2-1-88	平野区 植田産婦人科 正和病院 長吉総合病院 平野若葉会病院 緑風会病院	平野宮町2-8-8 瓜破東1-5-5 長吉長原 1-2-34 瓜破2-1-19 背戸口1-18-13
鶴見区 藍の都脳神経外科病院 コープおおさか病院 新協和病院 本田病院 和田病院	放出東2-21-16 鶴見3-6-22 今津南1-5-8 鶴見4-1-30 横堤3-10-18	西成区 杏林記念病院 思温病院 大和中央病院 愛寿記念病院 山本第三病院 まちだ胃腸病院	天下茶屋1-18-24 松1-1-31 長橋1-2-7 長橋3-6-45 南津守4-5-20 山王1-1-15
阿倍野区 ◇大阪公立大学医学部附属病院 相原第二病院 大阪鉄道病院	旭町1-5-7 阿部野筋3-12-10 松崎町1-2-22		
住之江区 南港病院 南大阪病院 友愛会病院	北加賀屋2-11-15 東加賀屋1-18-18 浜口西3-5-10		
計 94 か所			

表4

初期救急医療機関

(令和4年4月1日現在)

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
中央急病診療所	西区新町4-10-13 TEL 6534-0321	内・小	休日 土(祝・年末年始除く)	17～翌5:30
			平日	15～翌5:30 22～翌5:30
		眼・耳	休日 土(祝・年末年始除く)	10～21:30
			平日	15～21:30 22～翌0:30
都島休日急病診療所	都島区都島南通1-24-23 TEL 6928-3333	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
西九条休日急病診療所	此花区西九条5-4-25 TEL 6464-2111	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
十三休日急病診療所	淀川区十三東1-11-26 TEL 6304-7883	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
今里休日急病診療所	東成区大今里西3-6-6 TEL 6972-0767	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
沢之町休日急病診療所	住吉区千鉢2-2-6 TEL 6672-6021	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
中野休日急病診療所	東住吉区中野2-1-20 TEL 6705-1612	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
		小	平日	20:30～23

表5

休日・夜間緊急歯科診療所

(令和4年4月1日現在)

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
大阪府歯科医師会口腔 保健センター附属検査診 療所休日緊急診療所	天王寺区堂ヶ芝1-3-27 TEL 6772-8886(9:30～16) TEL 6774-2600(21～翌3:00)	歯科	休日昼間	9:30～16
			〃 夜間	21～翌3:00
			土(祝・年末年始除く)	21～翌3:00
			平日	21～翌3:00

表6

二次・三次救急医療機関の推移

(各年 3月1日現在)

年	救急医療機関
平成30年	95
令和元年	94
令和2年	94
令和3年	94
令和4年	94

救 急 活 動

1. 救急活動状況

(1) 救急活動状況の対前年比

令和4年中の出場件数は244,254件、搬送人員は186,256人で、前年に比べ出場件数は26,204件(12.0%増)の増加、搬送人員は11,560人(6.6%増)の増加となった。

区 分	令和4年	令和3年	対前年比	1日当り
出 場 件 数	244,254	218,050	26,204	669.2
搬 送 人 員	186,256	174,696	11,560	510.3
医 師 搬 送 件 数	1	3	△2	0.0
資器材等輸送件数	0	2	△2	0.0
不 搬 送 件 数	58,585	43,855	14,730	160.5
市域内出場件数	244,202	218,005	26,197	669.0
市域外出場件数	52	45	7	0.1

(2) 人口1万人当りの出場件数と搬送人員の推移

令和4年中に人口1万人当たりでは885.6件出場し、675.3人搬送している。これは、市民11.3人に1件出場し、14.8人に1人搬送したことになる。

年	出 場 件 数	搬 送 人 員
平成30年	890.3(11.2人に1人)	737.0(13.6人に1人)
令和元年	894.5(11.2〃)	742.3(13.5〃)
令和2年	790.7(12.7〃)	642.3(15.6〃)
令和3年	793.2(12.6〃)	635.5(15.7〃)
令和4年	885.6(11.3〃)	675.3(14.8〃)

2. 事故種別救急活動状況

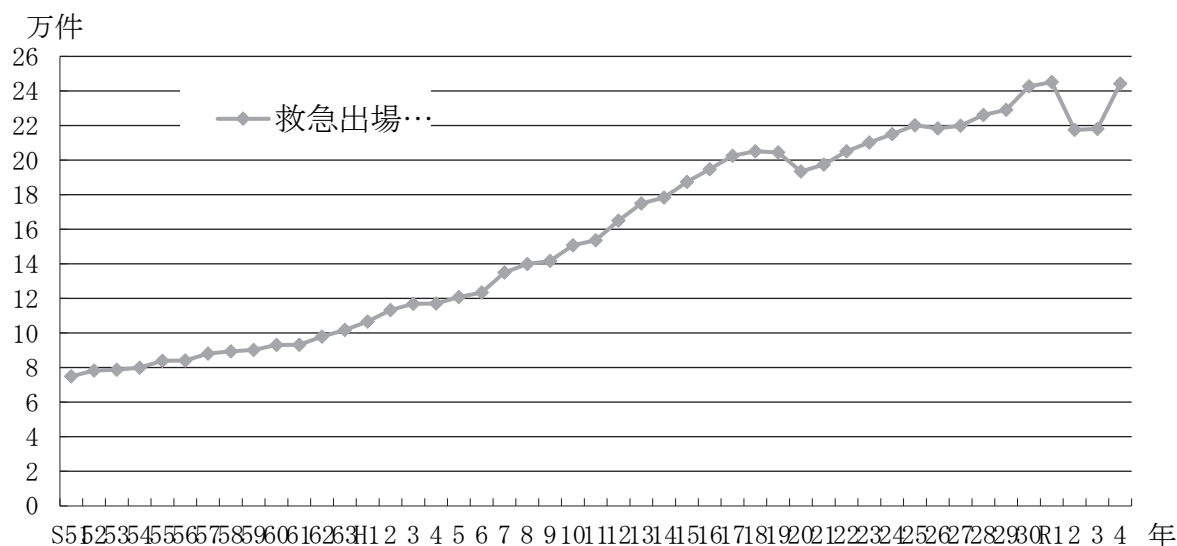
(1) 出場件数の対前年比

事故種別でみると、急病が174,334件と最も多く71.4%を占めており、次いで一般負傷38,180件(15.6%)、交通事故13,160件(5.4%)となった。なお、この3種別で225,674件出場し、全体の92.4%を占めている。

事故種別	令和4年		令和3年		対前年比	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
計	244,254	186,256	218,050	174,696	26,204	11,560
	100%	100%	100%	100%		
火災	711	139	711	160	0	△21
	0.3%	0.1%	0.3%	0.1%		
自然災害	5	5	14	12	△9	△7
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
水難	83	25	84	33	△1	△8
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
交通	13,160	10,420	12,917	10,566	244	△145
	5.4%	5.6%	5.9%	6.0%		
労働災害	1,544	1,491	1,414	1,383	130	108
	0.6%	0.8%	0.6%	0.8%		
運動競技	775	747	629	616	146	131
	0.3%	0.4%	0.3%	0.4%		
一般負傷	38,180	27,495	35,724	26,264	2,455	1,230
	15.6%	14.8%	16.4%	15.0%		
加害	1,987	1,089	1,968	1,175	19	△86
	0.8%	0.6%	0.9%	0.7%		
自損行為	2,419	1,431	2,261	1,428	158	3
	1.0%	0.8%	1.0%	0.8%		
急病	174,334	133,033	149,956	121,533	24,378	11,500
	71.4%	71.4%	68.8%	69.6%		
その他	11,056	10,381	12,372	11,525	△1,316	△1,144
	4.5%	5.6%	5.7%	6.6%		

(2) 救急出場件数の推移

救急出場件数は、令和4年は前年比12.0%増加し、244,254件となった。



(3) 事故種別搬送人員の推移

年	出場 件数 (件)	搬送 人員 (人)	内 訳 (人)										その他
			急病	一般 負傷	交通 事故	加害	自損	火災	労働 災害	運動 競技	水難	自然 災害	
平成30年	242,612	200,822	139,223	30,060	12,821	1,724	1,229	186	1,645	984	36	177	12,737
令和元年	245,105	203,379	141,307	30,753	12,214	1,563	1,416	181	1,639	993	30	2	13,281
令和2年	217,430	176,633	121,756	27,664	10,741	1,382	1,419	160	1,300	568	23	9	11,611
令和3年	218,050	174,696	121,533	26,264	10,567	1,175	1,428	160	1,383	616	33	12	11,525
令和4年	244,254	186,256	133,033	27,495	10,420	1,089	1,431	139	1,491	747	25	5	10,381

(4) 事故種別搬送人員構成比の推移

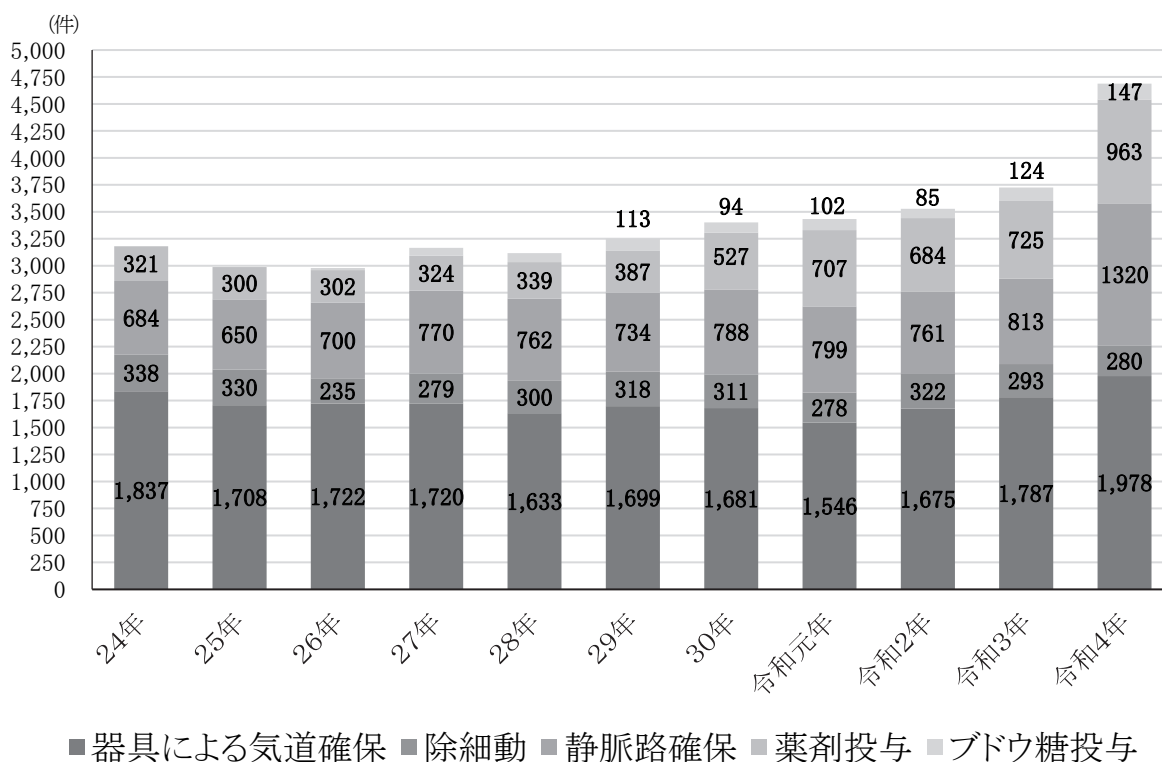
急病、一般負傷の割合が全体の86.2%を占めている。

	急病	一般負傷	交通事故	その他
平成30年	69.3%		15.0%	9.3%
令和元年	69.5%		15.1%	9.4%
令和2年	68.9%		15.7%	8.8%
令和3年	69.6%		15.0%	9.3%
令和4年	71.4%		14.8%	8.2%

3. 救急救命士活動状況と救命率

(1) 救急救命処置実施数の推移

令和4年中の「器具による気道確保」は1,978件、「除細動」は280件、「静脈路確保」は1,320件、「薬剤投与」は963件、「ブドウ糖投与」は147件、合計4,688件であった。



	計	器具による 気道確保	除細動	静脈路確保	薬剤投与	ブドウ糖 投与
平成24年	3, 180	1, 837	338	684	321	—
平成25年	2, 988	1, 708	330	650	300	—
平成26年	2, 959	1, 722	235	700	302	19
平成27年	3, 166	1, 720	279	770	324	73
平成28年	3, 117	1, 633	300	762	339	83
平成29年	3, 251	1, 699	318	734	387	113
平成30年	3, 401	1, 681	311	788	527	94
令和元年	3, 432	1, 546	278	799	707	102
令和2年	3, 527	1, 675	322	761	684	85
令和3年	3, 742	1, 787	293	813	725	124
令和4年	4, 688	1, 978	280	1,320	963	147

(2) 主な心肺機能停止前の救急救命処置実施状況

血糖測定器を用いた血糖測定 1,023 件

低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与 147 件

ショック及びクラッシュ症候群を疑う傷病者に対する静脈路確保及び輸液 72 件

(3) 心肺機能停止傷病者の生存率等の状況

令和4年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者のうち、心原性かつ市民により目撃のあった症例の1ヵ月後生存率は13.4%、1ヵ月後社会復帰率については9.8%となっている。

年	心原性かつ市民により 目撃のあった 心肺機能停止傷病者数 (人)	1ヵ月後 生存者数 (人)	1ヵ月後 生存率 (%)	1ヵ月後 社会復帰者数 (人)	1ヵ月後 社会復帰率 (%)
平成26年	691	105	15.2	72	10.4
平成27年	744	122	16.4	94	12.6
平成28年	754	108	14.3	87	11.5
平成29年	741	119	16.1	91	12.3
平成30年	766	123	16.1	80	10.4
令和元年	750	114	15.2	79	10.5
令和2年	738	84	11.4	47	6.4
令和3年	743	95	12.8	65	8.7
令和4年	845	113	13.4	83	9.8

4. 救急出場件数の高順位

救急出場件数については、救急隊別では、海道第1救急隊の出場が4,345件と最多で、1日平均では11.9件出場している。

行政区別では、西成区が19,544件と最多であり、1日当りの出場件数は53.5件であった。また、各区の平均出場件数は、9,394件であった。

日別では、12月31日が916件と最多であり、1日当りの平均出場件数は699.2件であった。

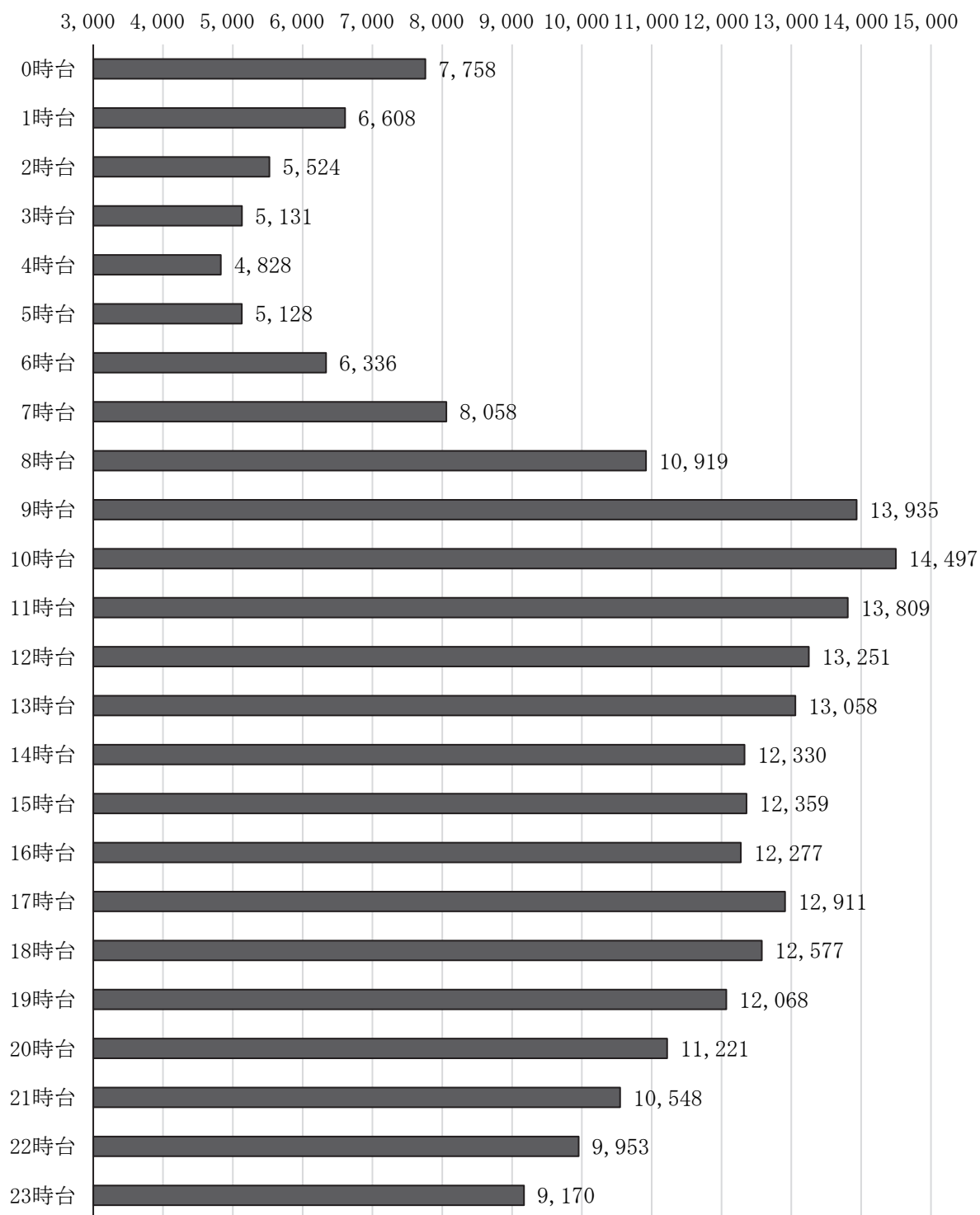
時間別では、10時台が14,497件と最多で1.5分に1件の出場となっている。

区 分	第1位	第2位	第3位	平均	備考
隊 別 出 場 件 数	海道1	海道2	浮田		第2表
	4,345件	4,326件	4,266件	3,346件	参 照
(1日当りの出場件数)	(11.9)	(11.9)	(11.7)	(9.2)	
行政 区 別 出 場 件 数	西成区	北区	平野区		第5表
	19,544件	16,738件	16,570件	9,394件	参 照
(1日当りの出場件数)	(53.5)	(45.9)	(45.4)	(25.7)	
日 別 出 場 件 数	12月31日	12月29日	7月1日		第9表
	916件	902件	896件	699.2件	参 照
時 間 別 出 場 件 数	10時台	9時台	11時台		第6表
	14,497件	13,935件	13,809件	10,177件	参 照
(出 場 頻 度)	(1.5分に1件)	(1.6分に1件)	(1.6分に1件)	(2.2分に1件)	

5. 時間別出場件数

出場件数を時間別のグラフでみると、10 時台が最多となり、4 時台が最少となっている。

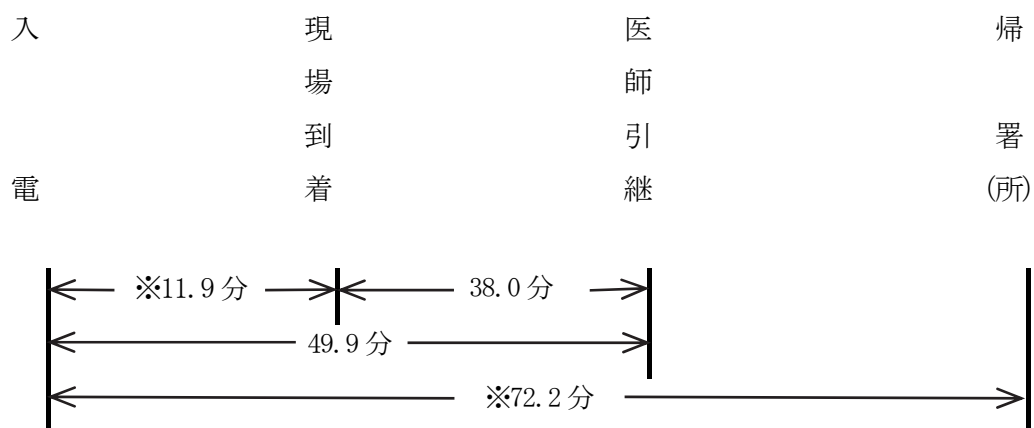
(単位：件)



6. 救急活動所要時間

(1) 入電から帰署までの平均所要時間

119番入電から救急現場到着、搬送先医療機関の医師に引継ぐまでの活動所要時間はそれぞれ12分、38分となっている。



※は不搬送を含みます

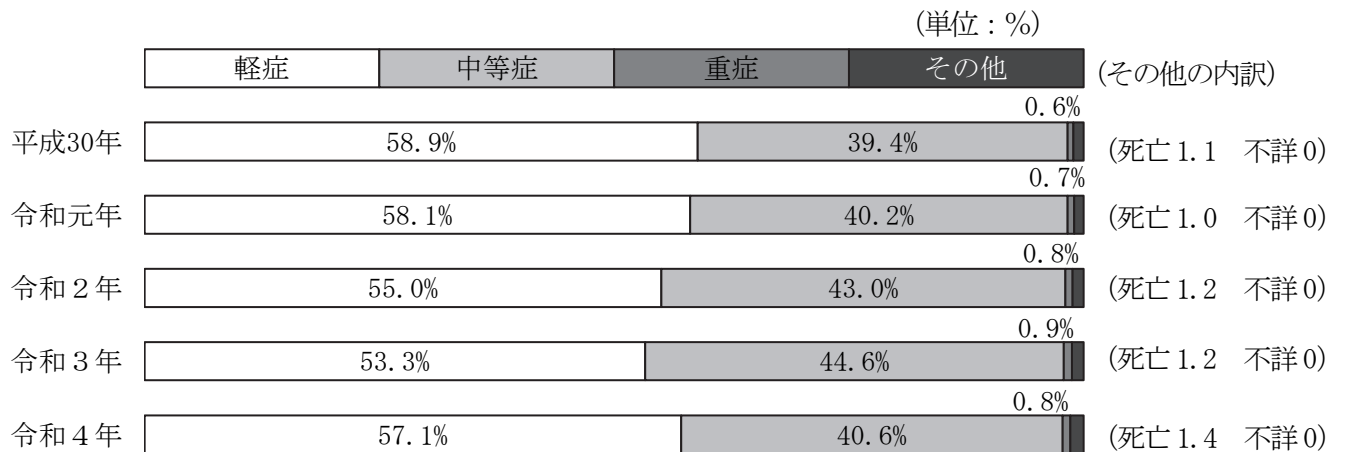
(2) 救急車が出場してから病院に到着するまでの時間別構成比の推移

(単位：%)

年	20分未満	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
平成30年	11.7	43.2	41.8	3.1	0.2
令和元年	12.2	43.7	40.9	3.0	0.2
令和2年	3.2	33.2	57.3	5.9	0.5
令和3年	6.7	35.9	50.2	6.1	1.1
令和4年	3.8	27.2	56.2	10.5	2.3

7. 程度別搬送状況

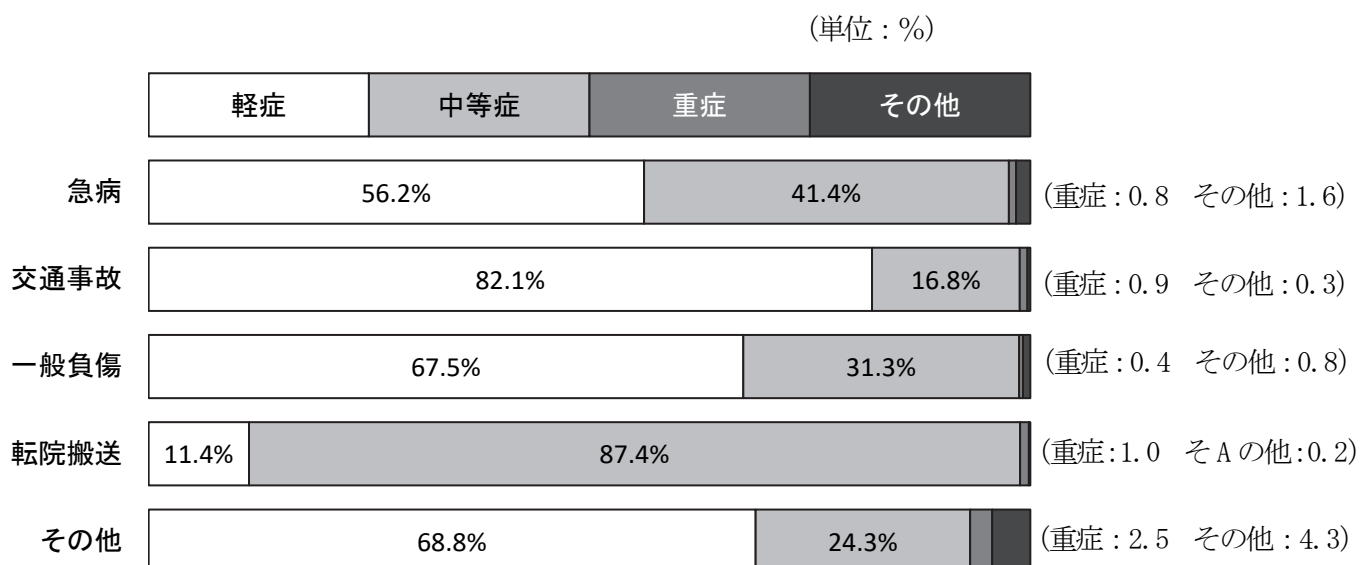
(1) 搬送人員構成比の推移



(2) 事故種別搬送人員の構成比

搬送人員を事故種別でみると、交通事故、一般負傷では軽症の割合が高く、それぞれ 82.1％(8,550 人)、67.5％(18,547 人)を占めている。

一方、急病では軽症の割合は 56.2％(74,768 人)と交通事故、一般負傷に比べて低く、中等症については 41.4％(55,926 人)と高くなっている。

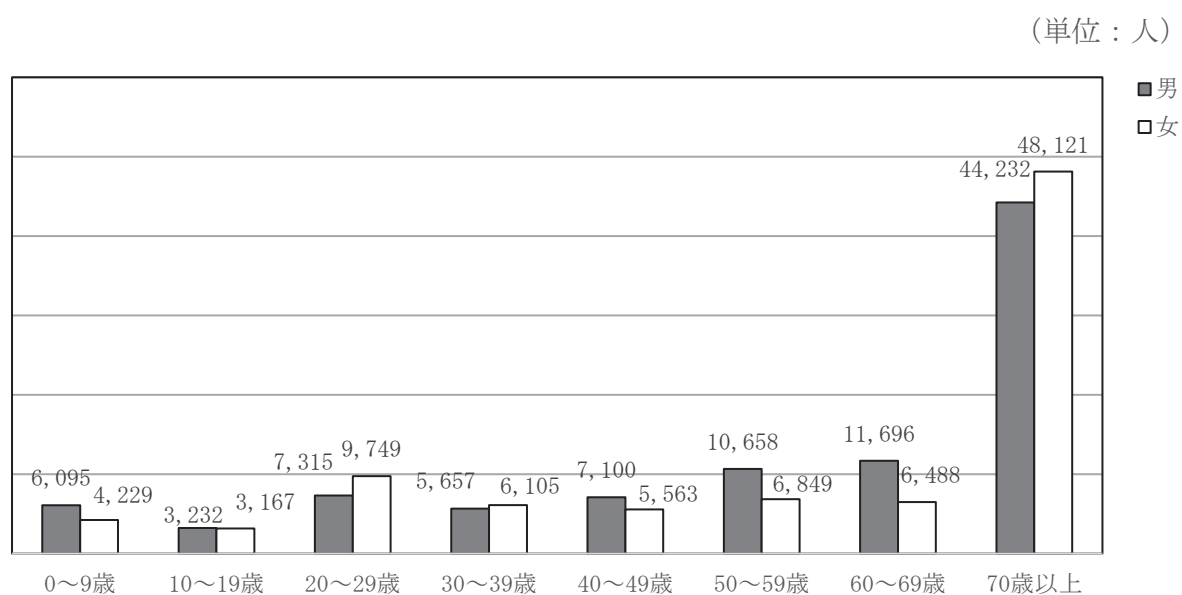


8. 性別・年齢層別搬送状況

(1) 性別・年齢層別搬送人員

搬送人員を性別でみると、男性が95,985人（51.5%）、女性が90,271人（48.5%）となり、60歳代までは男性が多い傾向を示すが、70歳以上では女性が多い。

年齢層の性別でみると、男性、女性共に70歳以上がそれぞれ44,232人（46.1%）、48,121人（53.3%）と最も多くなっている。



(2) 搬送人員の年齢層別構成比の推移

搬送人員を年齢層別でみると、65歳以上の高齢者の割合は54.7%（101,962人）となり、2年連続の減少となった。

（単位：％）

	0～19歳		20～39歳	40～64歳	65歳以上
平成28年	9.4	16.0	23.2	51.3	
平成29年	8.9	15.6	22.5	52.9	
平成30年	8.8	15.8	22.3	53.0	
令和元年	9.1	15.6	22.1	53.2	
令和2年	6.9	15.0	22.3	55.7	
令和3年	7.5	15.0	22.6	54.8	
令和4年	9.0	15.5	20.8	54.7	

(3) 事故種別・年齢層別構成比

年齢層別の搬送人員を事故種別の割合で見ると、急病、一般負傷で65歳以上は、それぞれ55.2% (73,486人)、65.8% (18,097人) と多くを占めており、交通事故では40歳から64歳までが33.6% (3,502人) と多くなっている。

(単位：%)

	0～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上
火災	1.4	25.2	33.1	40.3
自然災害	20.0	20.0	20.0	40.0
水難	4.0	8.0	44.0	44.0
交通事故	11.9	25.3	33.6	29.2
労働災害	3.0	34.2	50.0	12.9
運動競技	53.4	29.0	13.3	4.3
一般負傷	11.1	6.9	16.2	65.8
加害	9.0	39.8	38.7	12.6
自損行為	10.8	48.9	28.4	11.8
急病	8.4	16.0	20.3	55.2
転院搬送	5.2	10.3	19.6	64.9

9. 医療機関開設主体別搬送状況

傷病者を収容した医療機関は、私的医療機関が 144,701 人で 77.7%を占めている。

(単位：人)

区分	計	国立	公立	左記以外の 公 的	私的	その他
計	186,256	10,562	14,244	16,749	144,701	－
二次・三次救急医療機関	172,891	10,389	10,024	10,886	141,592	－
初期救急医療機関	614	31	1	－	582	－
その他の医療機関	12,751	142	4,219	5,863	2,527	－
その他の場所	－	－	－	－	－	－

10. 転院搬送状況の推移

転院搬送は、医療機関からの要請により、当該医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関へ搬送することで、10,381 人と、全搬送人員の 5.6%を占めている。

また転院理由は、当該医療機関での処置困難が 8,088 人（77.9%）と 7 割を超え、次に専門外が 953 人（9.2%）となっている。

年	計 (人)	全搬送人員に 対する構成比 (%)	理 由 別 (人)					後送 (人)
			ベッド満末	専門外	病末なし	処置困難	その他	
平成 30 年	12,737	6.3	327	1,852	342	9,021	382	813
令和元年	13,281	6.5	279	1,875	287	9,615	381	844
令和 2 年	11,611	6.6	376	1,513	227	8,581	433	481
令和 3 年	11,525	6.6	292	1,270	199	8,853	405	506
令和 4 年	10,381	5.6	274	953	231	8,088	432	403

11. 転送状況の推移

(1) 回数別搬送人員

転送とは、何らかの理由により、救急隊が当初搬送した医療機関等で収容できなかったため、当該救急隊が継続して他の医療機関等へ搬送した場合をいい、令和4年は957人と、全搬送人員の0.5%となっている。

(単位：人)

年	転送なし (A)	転送あり					搬送人員 (C)=(A)+(B)	転送率(%) (B)／(C)×100
		1回	2回	3回	4回	小計 (B)		
平成30年	200,379	436	7	—	—	443	200,822	0.2
令和元年	202,922	451	6	—	—	457	203,379	0.2
令和2年	176,222	406	5	—	—	411	176,363	0.2
令和3年	174,356	337	3	—	—	340	174,696	0.2
令和4年	185,299	942	14	1	—	957	186,256	0.5

(2) 理由別転送回数

(単位：回)

年	計	ベッド満床	専門外	処置困難	その他
令和元年	463	24	187	211	41
令和2年	411	24	108	199	80
令和3年	343	29	102	148	64
令和4年	957	233	130	286	308

12. 要保護傷病者搬送状況の推移

令和4年の要保護傷病者の搬送人員は899人であり、割合としては全搬送人員の0.5%となっている。

(単位：人)

年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
要保護傷病者 搬送人員数	1, 169	1, 198	1, 012	799	899

※要保護傷病者

- ・生活保護法に定める要保護者の傷病者（ただし、被保護者を除く）
- ・行旅病人及び行旅死亡人取扱法に定める行旅病人又は行旅死亡人に準ずる者

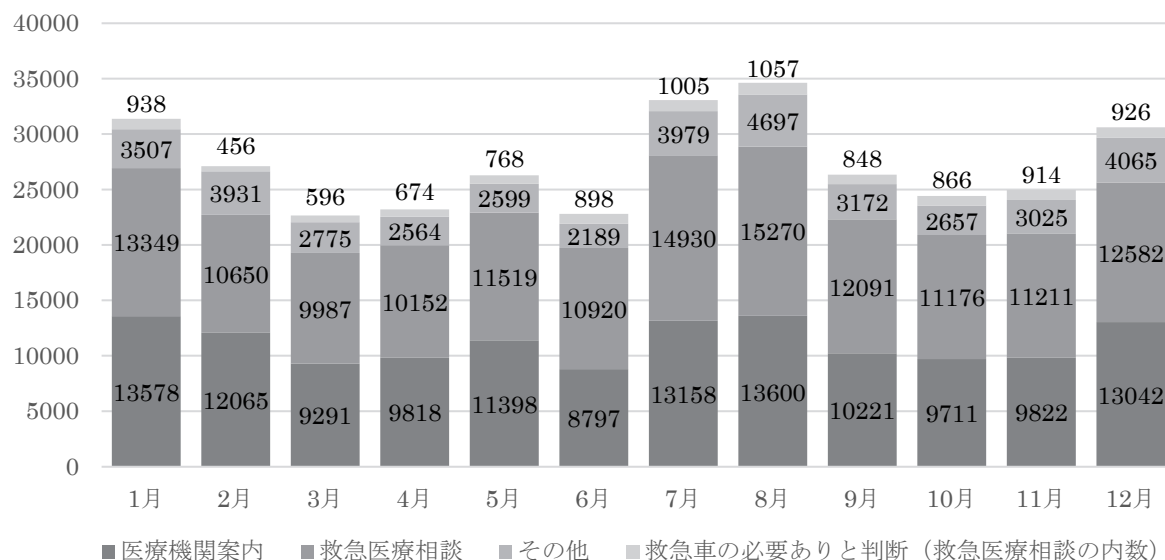
救急安心センターおおさか

1. 救急安心センターおおさか利用状況

(1) 月別利用状況

8月の利用が最も多く、6月の利用が最も少なかった。

(件)



(2) 月別利用状況の詳細

全着信件数 317,498 件の内、医療機関案内が 134,501 件 (42.4%)、救急医療相談が 143,837 件 (45.3%) であり、救急車の必要ありと判断した件数が 9,946 件 (3.1%) となっている。

(単位：件)

	全着信	医療機関案内	救急医療相談	救急車の必要あり	その他
計	317,498	134,501	143,837	9,946	39,160
1月	30,434	13,578	13,349	938	3,507
2月	26,646	12,065	10,650	456	3,931
3月	22,053	9,291	9,987	596	2,775
4月	22,534	9,818	10,152	674	2,564
5月	25,516	11,398	11,519	768	2,599
6月	21,906	8,797	10,920	898	2,189
7月	32,067	13,158	14,930	1,005	3,979
8月	33,567	13,600	15,270	1,057	4,697
9月	25,484	10,221	12,091	848	3,172
10月	23,544	9,711	11,176	866	2,657
11月	24,058	9,822	11,211	914	3,025
12月	29,689	13,042	12,582	926	4,065

※その他とは、誤着信、無言電話、医薬品や育児に関する相談等。

(3) 曜日別利用状況

日曜日・祝日の利用が最も多く、1日平均は1,259.5件であり、続いて土曜日が1日平均1,069.5件となっている。

(単位：件)

曜日	日・祝日	月	火	水	木	金	土	計
1日平均	1,259.5	748.2	692.9	715.2	749.0	693.6	1,069.5	869.9

2. 医療機関案内の診療科目別状況

年間339,477件の診療科目等の案内を行った。

科目別では案内数の多い順で内科系、外科系、小児科となっている。

科目等		計
内科系	(内科・循環器・呼吸器・消化器・神経内科)	136,171
外科系	(外科・心外・呼外・消外・脳外・整形・形成)	118,807
小児科	(小児・小児外・新生児)	51,632
産・婦人科	(産科・婦人科)	5,275
泌尿器科		5,804
皮膚科		4,826
眼科		4,550
耳鼻咽喉科		7,765
口腔外科		2,826
精神科		20
歯科		1,602
患者等搬送事業者		190
その他	(救命・重度熱傷・特殊等)	9
計		339,477

※医療機関を案内した合計数（救急医療相談後の医療機関案内を含む）

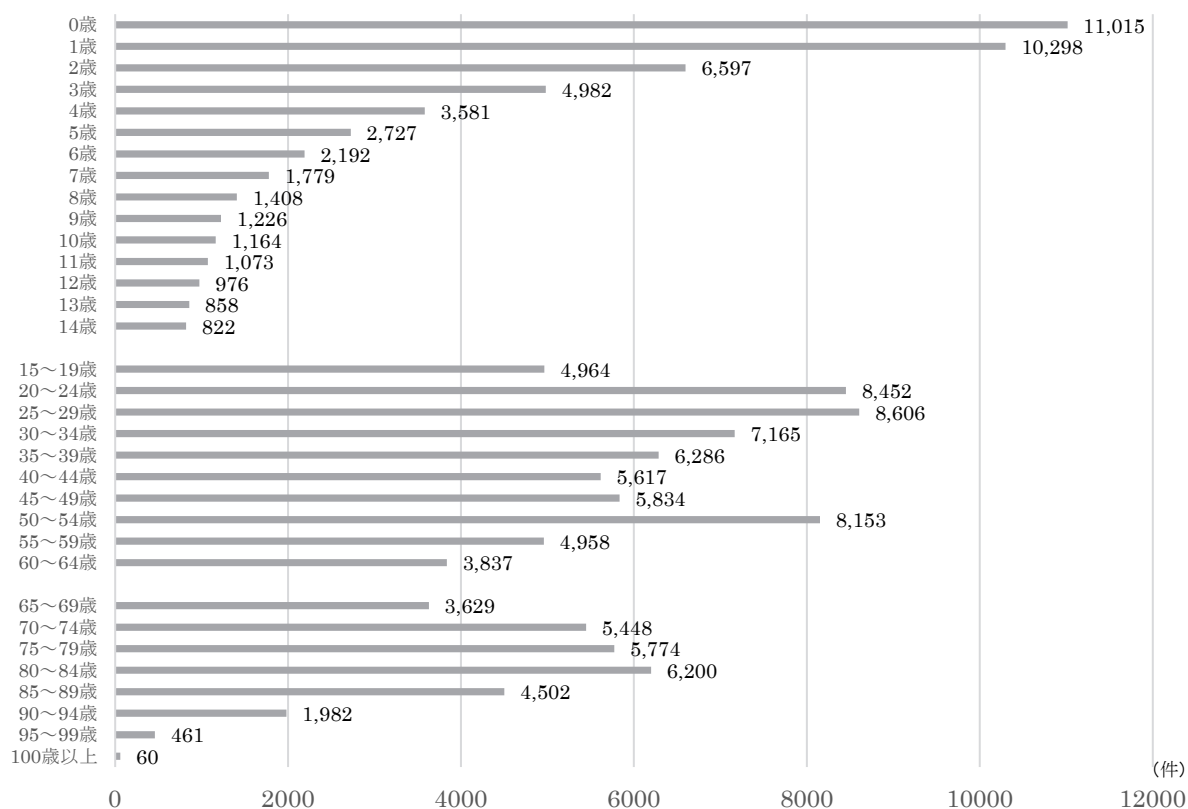
※1件の問い合わせで複数科目を案内した場合はそれぞれで計上

3. 救急医療相談状況

(1) 救急医療相談対象者の年齢区分

小児(15歳未満)の相談が50,698人(35.2%)、高齢者(65歳以上)が28,056人(19.5%)となった。

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
計	143,837				
0歳	11,015	15～19歳	4,964	65～69歳	3,629
1歳	10,298	20～24歳	8,452	70～74歳	5,448
2歳	6,597	25～29歳	8,606	75～79歳	5,774
3歳	4,982	30～34歳	7,165	80～84歳	6,200
4歳	3,581	35～39歳	6,286	85～89歳	4,502
5歳	2,727	40～44歳	5,617	90～94歳	1,982
6歳	2,192	45～49歳	5,834	95～99歳	461
7歳	1,779	50～54歳	8,153	100歳以上	60
8歳	1,408	55～59歳	4,958	不明	1,211
9歳	1,226	60～64歳	3,837		
10歳	1,164				
11歳	1,073				
12歳	976				
13歳	858				
14歳	822				



(2) 救急医療相談の症候別内訳

(単位：件)

成人用		成人及び小児共通	
呼吸困難	5,742	動悸	2,157
喘鳴	149	意識障害	2,055
喘息	324	背部痛	1,396
痙攣	455	失神	772
頭痛	5,739	構音障害・声が出ない	654
胸痛	3,909	感冒	1,999
発熱	13,578	咽頭痛	2,162
発疹・麻疹	2,295	胸やけ	195
腹痛	8,965	吐血・下血・血便	1,510
便秘	851	排尿時痛	326
下痢	1,478	排尿困難	693
吐き気・嘔吐	3,490	尿の色の異常	649
耳痛(耳漏)	362	多尿・頻尿	212
頭部外傷	2,683	腔からの出血	805
小児用		性器・泌尿器(男性)	636
発熱	14,295	難聴	151
痙攣(ひきつけ)・震え	802	耳鳴り	188
咳	2,327	めまい・ふらつき	5,743
鼻水・鼻づまり	311	しびれ・麻痺	3,679
喘息・喘息様症状	225	眼科関連	1,842
呼吸困難	1,163	鼻(外傷・鼻出血など)	1,536
発疹	2,294	口腔内・歯痛・歯牙損傷	2,310
吐き気・嘔吐	3,766	頸部痛・肩の痛み	1,203
下痢	879	腰痛	2,741
腹痛	1,989	乳房痛	151
便秘	294	かゆみ	151
便の色の異常	697	アレルギー	555
耳痛(耳漏)	552	高血圧	1,750
頭痛	1,016	しゃっくり	99
たばこ誤飲	289	過換気	240
啼泣	687	不安・恐怖	341
食欲がない	299	不眠	340
頭部・頸部外傷	7,780	うつ訴え	106
		計	153,148

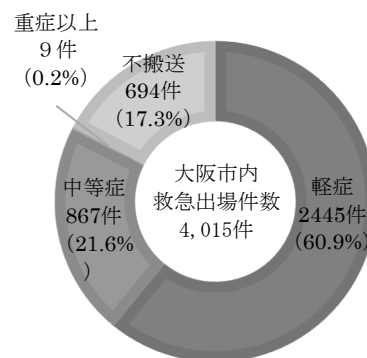
※救急医療相談のプロトコル使用要領は、共通項目を聴取した後、相談内容に応じた症候別項目へ移行するが、共通項目を終えた時点で119転送した場合など、症候別項目へ移行せずに相談を終える場合がある。

(3) 救急出場した傷病者の月別傷病程度(大阪市内)

救急車を出場させた4,015件(大阪市内)のうち、緊急入院したもの(中等症以上)は876件であった。また、軽症者の中には脳梗塞や心筋梗塞などでみられる症状を迅速にとらえ受診につなげることで、通院加療にとどまったケースもあった。

(単位：件)

	軽症	中等症	重症以上	不搬送等	計
計	2,445	867	9	694	4,015
1月	226	87	2	61	376
2月	104	49	0	46	199
3月	159	60	1	41	261
4月	192	58	1	50	301
5月	208	60	0	49	317
6月	223	83	1	42	349
7月	262	83	1	75	421
8月	208	57	1	113	379
9月	197	86	0	60	343
10月	196	93	1	36	326
11月	253	75	0	43	371
12月	217	76	1	78	372



統計表

(参 考) 事 故 種 別 区 分 表

種 別	区分	内 容
火 災 事 故	1	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故
自然災害事故	1	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他異常な自然現象に起因する災害による事故
水 難 事 故	1	水泳中の溺者（運動競技によるものを除く。）又は誤って水中に転落したこと等による事故（海上交通機関の交通事故によるものを除く）
交 通 事 故	1	陸上交通機関によるすべての事故（乗車中の負傷、走行中の急停車又は車内混乱が直接負傷発生の原因となったものを含む）
	2	海上交通機関によるすべての交通事故
	3	航空交通機関によるすべての交通事故
労働災害事故	1	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の外科的傷病事故
	2	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の内科的疾患事故（各種ガス中毒、ケーソン病、熱射病等）
運動競技事故	1	運動競技実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等が負傷又は発病した事故
	2	観覧中の者が運動競技用具等によって負傷した事故及び各種職場、学校等において組織的な運動競技でない練習、遊技中に発生した事故
一 般 負 傷	1	貨幣、針、その他の誤飲、異物による気道閉塞、寝具、乳房による窒息事故
	2	ガス類により中毒した事故（労働災害及び自損行為によるものを除く。）
	3	公衆集合場、街頭及び屋内等で発生した他の各項および前各号以外の事故
加 害	1	他人によって故意に傷害等を加えられた事故
自 損 行 為	1	各種薬（毒）物又はガス類を使用し、故意に自分自身に傷害等を加えた事故
	2	前号以外の方法で故意に自分自身に傷害等を加えた事故
急 病	1	内科的疾患による事故（症状悪化、食中毒、薬毒物誤飲等を含む。）
	2	産婦人科系の疾患による事故
そ の 他		転 院 搬 送
		医 師 搬 送
		資器材等輸送
		不搬送であったもののうち、前各項及び前各号以外の事故

第1表

事故種別救急活動状況

事 故 種 別	出 場 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)
計	244,254	186,256
火 災 1	711	139
自 然 災 害 1	5	5
水 難 1	83	25
交 通 1	13,158	10,418
2	2	2
3	0	0
労 働 災 害 1	1,498	1,448
2	46	43
運 動 競 技 1	760	732
2	15	15
一 般 負 傷 1	925	743
2	19	11
3	37,236	26,741
加 害 1	1,987	1,089
自 損 行 為 1	1,507	935
2	912	496
急 病 1	172,778	131,542
2	1,556	1,491
そ の 他		
転 院 搬 送	10,377	10,381
医 師 搬 送	1	-
資 器 材 等 輸 送	0	-
そ の 他	678	-

隊		出 場 件 数 (件)						搬 送 人 員 （ 人 ）	
		計	傷 病 者 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	不 搬 送	地 域 別		
							市 域 内		市 域 外
計		244,254	185,670	1		58,583	244,202	52	186,256
本部	本部指導 1	137	119			18	137		120
	本部指導 2	1,448	1,258			190	1,448		1,261
	本部機動 1	2,450	1,937			513	2,450		1,947
	本部機動 2	1,018	872			146	1,018		877
北	北	4,103	3,177			926	4,103		3,186
	南 森 町	3,838	2,937	1		901	3,837	1	2,945
	浮 田	4,266	3,213		1,052	4,266		3,223	
	大 淀 町	3,363	2,603		760	3,360	3	2,608	
都 島 1	3,919	3,108	811		3,919		3,118		
都 島	都 島 2	2,029	1,632			397	2,028	1	1,635
	東 野 田	3,662	2,773			889	3,661	1	2,778
福 島	福 島	3,580	2,893			687	3,580		2,904
	海 老 江	2,983	2,388			595	2,981	2	2,397
此 花	此 花 1	3,211	2,555			656	3,211		2,564
	此 花 2	2,986	2,275			711	2,986		2,279
中 央	中 央	3,647	2,789			858	3,646	1	2,803
	道 頓 堀	4,042	2,650			1,392	4,042		2,661
	上 町	3,671	2,692			979	3,671		2,699
西	西	3,359	2,710			649	3,359		2,725
	江 戸 堀	3,563	2,699			864	3,562	1	2,708
	新 町	3,967	2,850			1,117	3,967		2,862
	港	3,482	2,862			620	3,482		2,868
大	正	2,908	2,399			509	2,908		2,402
天王寺	天 王 寺 1	3,996	2,984			1,012	3,996		2,993
	天 王 寺 2	2,035	1,607			428	2,035		1,613
浪 速	浪 速 本 署 1	3,891	2,474			1,417	3,891		2,484
	浪 速 本 署 2	3,704	2,480			1,224	3,704		2,491
	恵 美 須	4,160	2,686			1,474	4,160		2,696
	浪 速 (出)	3,687	2,704			983	3,687		2,715
西淀川	西 淀 川	3,503	2,861			642	3,502	1	2,873
	大 和 田	3,050	2,515			535	3,049	1	2,517
淀 川	淀 川 1	4,013	3,099			914	4,011	2	3,106
	淀 川 2	3,767	2,918			849	3,767		2,929
	加 島	2,883	2,185			698	2,881	2	2,193
東淀川	東 淀 川	3,849	3,166			683	3,849		3,175
	小 松	3,644	2,935			709	3,643	1	2,942
	西 淡 路	4,086	3,292			794	4,085	1	3,299

※増強救急隊とは、特別警戒及び救急需要増大時の増強隊。

※本部指導第1救急隊及び本部指導第2救急隊は令和3年10月1日よりデイトタイム救急隊

※本部機動第2救急隊は令和4年4月1日よりデイトタイム救急隊

隊			出 場 件 数 (件)							搬 送 人 員 （ 人 ）
			計	傷 病 者 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	不 搬 送	地 域 別		
								市 域 内	市 域 外	
東成	東 成 1	4,090	3,034			1,056	4,088	2	3,043	
	東 成 2	3,841	2,875			966	3,840	1	2,882	
生 野	生 野	3,599	2,696			903	3,599		2,704	
	中 川	2,874	2,322			552	2,874		2,333	
	巽	3,018	2,427			591	3,017	1	2,431	
旭	旭1	4,191	3,092			1,099	4,187	4	3,102	
	旭2	4,082	3,117			965	4,081	1	3,126	
城 東	城 東 1	4,053	3,342			711	4,052	1	3,357	
	城 東 2	3,713	2,970			743	3,713		2,980	
	中 浜	3,716	3,073			643	3,715	1	3,085	
鶴 見	鶴 見 1	3,412	2,886			526	3,408	4	2,892	
	鶴 見 2	3,185	2,697			488	3,181	4	2,701	
阿倍野	阿 倍 野 1	3,323	2,474			849	3,323		2,484	
	阿 倍 野 2	3,375	2,526			849	3,375		2,527	
	阪 南	3,446	2,482			964	3,446		2,487	
住之江	住 之 江 1	4,263	3,243			1,020	4,262	1	3,250	
	住 之 江 2	2,088	1,632			456	2,088		1,637	
	南 港	2,044	1,629			415	2,043	1	1,635	
住 吉	住 吉 1	3,612	2,657			955	3,611	1	2,663	
	住 吉 2	3,428	2,381			1,047	3,428		2,387	
	苅 田	3,473	2,558			915	3,473		2,568	
東住吉	東 住 吉 1	3,607	2,576			1,031	3,606	1	2,585	
	東 住 吉 2	1,830	1,389			441	1,830		1,393	
	杭 全	3,326	2,466			860	3,326		2,477	
平 野	平 野 1	3,624	2,776			848	3,623	1	2,789	
	平 野 2	3,475	2,708			767	3,473	2	2,717	
	長 吉	3,341	2,492			849	3,337	4	2,500	
	喜 連	3,955	2,947			1,008	3,955		2,959	
西 成	西 成 1	3,987	2,892			1,095	3,987		2,908	
	西 成 2	3,893	2,774			1,119	3,893		2,781	
	海 道 1	4,345	2,820			1,525	4,344	1	2,826	
	海 道 2	4,326	2,791			1,535	4,326		2,794	
	津 守	3,173	2,461			712	3,172	1	2,467	
水上		2,273	1,851			422	2,272	1	1,853	
航空隊		1	1					1	1	
增強救急隊		4,372	3,316			1,056	4,372		3,336	

第3表

月別救急活動状況

月	出 場 件 数 (件)							搬 送 人 員 (人)
	計	傷 病 者 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	不 搬 送	地 域 別		
						市 域 内	市 域 外	
計	244,254	185,668	1	0	58,585	244,202	52	186,256
1月	20,650	16,111	－	－	4,539	20,647	3	16,163
2月	17,343	11,802	－	－	5,541	17,340	3	11,838
3月	18,810	14,151	－	－	4,659	18,808	2	14,186
4月	18,192	14,313	－	－	3,879	18,188	4	14,352
5月	19,296	15,307	－	－	3,989	19,294	2	15,355
6月	20,020	15,992	－	－	4,028	20,013	7	16,035
7月	24,204	18,204	－	－	6,000	24,200	4	18,292
8月	23,068	15,860	－	－	7,208	23,061	7	15,917
9月	19,558	14,980	－	－	4,578	19,551	7	15,023
10月	19,872	15,687	－	－	4,185	19,867	5	15,731
11月	19,646	15,470	－	－	4,176	19,643	3	15,518
12月	23,595	17,791	1	－	5,803	23,590	5	17,846

第4表

月別出場件数及び搬送人員

月	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	244,254	711	5	83	13,160	1,544	775	38,180	1,987	2,419	174,334	11,056
	186,256	139	5	25	10,420	1,491	747	27,495	1,089	1,431	133,033	10,381
1月	20,650	72	－	5	894	117	36	3339	154	200	14796	1037
	16,163	17	－	3	731	112	34	2472	81	124	11617	972
2月	17,343	71	－	2	625	79	16	2332	94	166	13175	783
	11,838	14	－		498	73	16	1504	39	78	8867	749
3月	18,810	82	－	11	1047	128	69	2995	164	169	13183	962
	14,186	21	－	3	810	122	65	2123	84	91	9962	905
4月	18,192	48	－	6	1139	112	84	3057	191	190	12449	916
	14,352	15	－	2	900	109	81	2227	127	126	9915	850
5月	19,296	61	1	6	1193	139	71	3112	192	245	13277	999
	15,355	9	1	2	988	132	70	2323	91	145	10648	946
6月	20,020	53	2	6	1278	166	108	3209	177	214	13863	944
	16,035	10	2	3	1013	162	106	2326	106	140	11274	893
7月	24,204	48	－	13	1122	128	67	3051	160	221	18493	901
	18,292	9	－	2	875	127	64	2186	90	136	13961	842
8月	23,068	56	－	5	969	115	35	2817	155	200	18095	621
	15,917	12	－		729	107	29	1884	81	110	12395	570
9月	19,558	56	－	8	1142	123	76	2974	176	235	13932	836
	15,023	7	－	5	871	122	74	2133	106	132	10795	778
10月	19,872	40	－	3	1320	165	88	3593	175	196	13306	986
	15,731	6	－	2	1067	159	87	2642	97	116	10636	919
11月	19,646	66	－	9	1190	126	72	3429	162	210	13389	993
	15,518	14	－		957	126	71	2581	93	131	10608	937
12月	23,595	58	2	9	1241	146	53	4272	187	173	16376	1078
	17,846	5	2	3	981	140	50	3094	94	102	12355	1020

(注) 上段 … 出場件数(件)

下段 … 搬送人員(人)

第5表

行政区別救急活動状況

行政区	計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他			
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	医	資	そ
		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	院	師	器	の
		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	送	送	材	他
		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	送	送	材	他
計	244,254	711	5	83	13,160	1,544	775	38,180	1,987	2,419	174,334	10,377	1	0	678
	186,256	139	5	25	10,420	1,491	747	27,495	1,089	1,431	133,033	10,381	-	-	-
北	16,738	43	-	11	889	182	37	2822	177	134	11778	635	-	-	30
	12,768	7	-	5	732	174	35	2156	116	86	8822	635	-	-	
都 島	7,794	16	-	3	391	38	19	1302	68	77	5641	216	-	-	23
	5,991	3	-	2	321	34	18	975	31	52	4338	217	-	-	
福 島	5,206	18	-	2	319	46	20	780	30	45	3594	343	-	-	9
	4,230	2	-	-	276	46	20	608	21	31	2882	344	-	-	
此 花	5,971	12	-	1	251	77	54	974	23	27	4383	157	1	-	11
	4,741	-	-	-	203	77	51	742	12	19	3480	157	-	-	
中 央	15,505	70	-	9	1031	146	51	2476	356	196	10790	321	-	-	59
	10,737	10	-	3	830	134	49	1660	194	112	7424	321	-	-	
西	7,579	26	-	3	601	61	19	1044	51	84	4752	912	-	-	26
	6,108	3	-	1	502	61	19	777	28	42	3763	912	-	-	
港	6,664	9	-	1	309	49	31	1079	50	40	4865	215	-	-	16
	5,426	1	-	-	258	49	31	801	26	21	4023	216	-	-	
大 正	5,628	12	-	-	285	53	24	860	39	47	4084	214	-	-	10
	4,591	-	-	-	224	52	24	656	24	30	3367	214	-	-	
天王寺	6,726	15	-	-	382	39	34	1102	37	71	4557	476	-	-	13
	4,988	2	-	-	300	37	33	827	22	32	3259	476	-	-	
浪 速	8,871	33	-	1	496	47	38	1317	118	168	6331	306	-	-	16
	6,095	10	-	1	370	46	36	803	70	84	4369	306	-	-	
西淀川	7,130	27	-	2	398	77	18	1054	27	71	4976	458	-	-	22
	5,963	9	-	-	345	77	18	819	15	43	4179	458	-	-	
淀 川	14,295	35	-	6	782	84	45	2264	98	129	10371	430	-	-	51
	11,107	3	-	3	621	82	43	1678	61	83	8103	430	-	-	
東淀川	14,254	48	2	5	644	44	45	2068	76	167	10619	506	-	-	30
	11,352	8	2	-	530	42	44	1537	48	111	8524	506	-	-	

(注) 上段 … 出場件数(件)

下段 … 搬送人員(人)

行政区	計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他			
		災	然 災 害	難	通	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
東 成	6,454	21	-	1	410	29	15	1002	51	52	4511	346	-	-	16
	4,995	4	-	-	306	28	14	740	32	39	3486	346	-	-	
生 野	12,093	53	-	1	697	62	34	1759	69	120	8794	485	-	-	19
	9,325	16	-	1	526	62	33	1334	39	64	6765	485	-	-	
旭	6,594	24	-	3	322	16	20	1095	43	65	4643	329	-	-	34
	5,128	7	-	2	254	14	20	806	24	37	3634	330	-	-	
城 東	11,276	32	-	1	570	45	32	1667	55	99	8041	697	-	-	37
	9,220	9	-	-	490	45	30	1310	31	71	6537	697	-	-	
鶴 見	7,164	13	-	1	388	36	50	1146	34	54	5021	409	-	-	12
	6,005	1	-	-	337	35	48	925	18	31	4201	409	-	-	
阿倍野	7,954	21	-	2	417	36	22	1359	28	63	5558	420	-	-	28
	6,161	4	-	1	342	32	20	1017	11	39	4275	420	-	-	
住之江	10,432	16	-	5	557	141	35	1535	55	123	7503	424	-	-	38
	8,197	3	-	2	419	139	33	1133	31	72	5941	424	-	-	
住 吉	12,660	22	2	-	538	44	42	2015	74	142	9055	675	-	-	51
	9,133	2	2	-	389	39	42	1370	40	79	6495	675	-	-	
東住吉	11,067	27	-	1	612	50	34	1682	69	93	8011	442	-	-	46
	8,219	6	-	-	446	49	32	1207	36	46	5955	442	-	-	
平 野	16,570	39	1	1	1043	81	30	2440	97	180	12045	564	-	-	49
	12,659	4	1	1	818	78	29	1805	39	113	9207	564	-	-	
西 成	19,544	78	-	-	794	59	26	3328	262	168	14401	396	-	-	32
	13,068	24	-	-	552	57	25	1807	120	90	9997	396	-	-	
水上区	33	1	-	20	2	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-
	11	1	-	3	2	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-
市域外	52	-	-	3	32	2	-	4	-	-	10	1	-	-	-
	38	-	-	-	27	2	-	1	-	-	7	1	-	-	-

第6表

平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員

区 分	出 場 件 数 (件)														
	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
計	244,254	711	5	83	13,160	1,544	775	38,180	1,987	2,419	174,334	10,377	1	0	678
平・休日															
平 日	159,965	457	3	51	9029	1146	316	24590	1107	1640	113279	7902	1		444
休 日	84,289	254	2	32	4131	398	459	13590	880	779	61055	2475			234
時 間															
0 ～ 1	7,758	22	－	2	295	18	1	1188	176	126	5760	144	－	－	26
1 ～ 2	6,608	22	－	1	269	24	3	920	143	107	4979	116	－	－	24
2 ～ 3	5,524	25	－	1	194	20	1	716	130	98	4245	74	－	－	20
3 ～ 4	5,131	14	－	2	183	21	2	618	116	72	4020	63	－	－	20
4 ～ 5	4,828	27	－	3	166	13	－	581	108	61	3797	54	－	－	18
5 ～ 6	5,128	20	－	3	198	17	2	704	75	67	3977	44	－	－	21
6 ～ 7	6,336	28	－	3	294	27	2	823	72	77	4963	35	－	－	12
7 ～ 8	8,058	22	－	5	529	32	3	1131	63	83	6120	44	－	－	26
8 ～ 9	10,919	24	1	9	778	82	15	1691	44	76	8063	115	－	－	21
9 ～ 10	13,935	22	－	3	763	135	32	2144	52	81	10162	516	－	－	25
10～11	14,497	35	1	7	807	119	64	2251	54	92	10046	988	－	－	33
11～12	13,809	30	1	5	797	153	87	2163	49	102	9208	1177	－	－	37
12～13	13,251	24	－	3	738	98	67	2031	43	95	8936	1190	－	－	26
13～14	13,058	12	－	2	699	130	68	2068	46	95	8879	1016	－	－	43
14～15	12,330	27	1	5	649	136	78	1936	48	103	8569	746	－	－	32
15～16	12,359	36	－	6	706	115	57	2033	36	110	8553	668	－	－	39
16～17	12,277	26	1	2	752	105	64	2132	50	114	8337	665	－	－	29
17～18	12,911	69	－	3	977	57	59	2118	64	119	8636	774	1	－	34
18～19	12,577	30	－	7	834	51	31	1994	84	124	8794	590	－	－	38
19～20	12,068	46	－	4	659	52	47	2066	67	109	8564	417	－	－	37
20～21	11,221	45	－	1	545	38	41	1914	81	106	8145	288	－	－	17
21～22	10,548	41	－	1	490	36	31	1858	124	136	7551	241	－	－	39
22～23	9,953	30	－	1	410	34	11	1637	124	135	7317	222	－	－	32
23～24	9,170	34	－	4	428	31	9	1463	138	131	6713	190	－	－	29

搬 送 人 員 (人)												区
計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	分
186,256	139	5	25	10,420	1,491	747	27,495	1,089	1,431	133,033	10,381	計
												平・休日
122,720	92	3	17	7181	1107	309	17659	596	968	86883	7905	平 日
63,536	47	2	8	3239	384	438	9836	493	463	46150	2476	休 日
												時 間
5,160	4	-	-	189	16	1	690	86	74	3956	144	0～ 1
4,309	3	-	-	165	18	3	560	78	58	3308	116	1～ 2
3,544	4	-	-	132	18	1	423	61	55	2776	74	2～ 3
3,383	2	-	-	122	17	2	359	52	44	2722	63	3～ 4
3,335	9	-	1	110	13	-	382	50	28	2688	54	4～ 5
3,571	5	-	2	140	17	2	470	34	46	2811	44	5～ 6
4,634	6	-	-	217	24	2	584	37	52	3677	35	6～ 7
6,240	7	-	1	441	31	3	833	40	51	4789	44	7～ 8
8,935	4	1	4	664	80	14	1347	26	41	6639	115	8～ 9
11,823	3	-	1	656	134	32	1767	42	48	8624	516	9～10
11,956	6	1	3	654	117	61	1789	36	60	8241	988	10～11
11,241	8	1	1	666	148	83	1636	37	66	7418	1177	11～12
10,769	5	-	-	613	97	64	1568	29	61	7141	1191	12～13
10,580	3	-	1	573	127	68	1595	30	59	7108	1016	13～14
9,688	1	1	3	545	133	74	1432	23	58	6672	746	14～15
9,714	4	-	1	576	112	56	1507	24	64	6702	668	15～16
9,609	3	1	-	606	105	63	1552	35	65	6514	665	16～17
10,087	16	-	2	820	57	57	1556	39	62	6703	775	17～18
9,557	4	-	2	649	48	30	1419	50	74	6690	591	18～19
9,027	6	-	1	525	52	45	1457	38	63	6423	417	19～20
8,241	13	-	-	407	34	39	1342	42	61	6015	288	20～21
7,602	11	-	1	366	33	28	1234	61	81	5546	241	21～22
6,993	4	-	-	299	33	10	1053	68	86	5217	223	22～23
6,258	8	-	1	285	27	9	940	71	74	4653	190	23～24

第7表

曜日別、時間別出場件数及び搬送人員

時間	出 場 件 数 (件)							
	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	244,254	34,603	35,669	34,085	34,020	34,365	35,271	36,241
0 ～ 1	7,758	1,297	1,004	1,089	1,046	1,025	1,036	1,261
1 ～ 2	6,608	1,101	893	867	877	868	897	1,105
2 ～ 3	5,524	892	775	757	755	751	700	894
3 ～ 4	5,131	929	719	640	707	685	661	790
4 ～ 5	4,828	761	698	642	650	681	661	735
5 ～ 6	5,128	841	726	694	691	701	709	766
6 ～ 7	6,336	957	943	899	929	867	852	889
7 ～ 8	8,058	1,102	1,250	1,181	1,103	1,131	1,142	1,149
8 ～ 9	10,919	1,392	1,891	1,570	1,562	1,524	1,600	1,380
9 ～10	13,935	1,682	2,403	1,986	1,935	2,019	2,045	1,865
10～11	14,497	1,837	2,296	2,100	2,072	2,139	2,039	2,014
11～12	13,809	1,786	2,128	2,003	1,981	1,955	2,048	1,908
12～13	13,251	1,687	2,002	1,898	1,885	1,894	1,998	1,887
13～14	13,058	1,726	1,956	1,867	1,844	1,859	1,979	1,827
14～15	12,330	1,683	1,811	1,717	1,797	1,789	1,766	1,767
15～16	12,359	1,664	1,727	1,727	1,776	1,746	1,799	1,920
16～17	12,277	1,710	1,802	1,711	1,706	1,763	1,789	1,796
17～18	12,911	1,824	1,758	1,791	1,869	1,870	1,938	1,861
18～19	12,577	1,831	1,786	1,813	1,739	1,746	1,767	1,895
19～20	12,068	1,889	1,651	1,618	1,617	1,730	1,706	1,857
20～21	11,221	1,616	1,523	1,522	1,501	1,620	1,664	1,775
21～22	10,548	1,599	1,402	1,427	1,469	1,445	1,498	1,708
22～23	9,953	1454	1354	1326	1300	1350	1527	1642
23～24	9,170	1343	1171	1240	1209	1207	1450	1550

搬 送 人 員 (人)								時間
計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
186,256	26,016	27,650	26,157	25,988	26,154	27,015	27,276	計
5,160	859	696	732	655	690	692	836	0 ～ 1
4,309	725	585	567	573	549	603	707	1 ～ 2
3,544	574	520	491	501	456	444	558	2 ～ 3
3,383	591	495	426	481	438	435	517	3 ～ 4
3,335	521	502	468	459	472	420	493	4 ～ 5
3,571	576	511	484	476	495	505	524	5 ～ 6
4,634	694	713	667	664	629	641	626	6 ～ 7
6,240	836	992	925	852	884	893	858	7 ～ 8
8,935	1,102	1,588	1,304	1,292	1,231	1,309	1,109	8 ～ 9
11,823	1,362	2,082	1,716	1,630	1,730	1,733	1,570	9 ～ 10
11,956	1,473	1,915	1,735	1,729	1,759	1,687	1,658	10 ～ 11
11,241	1,431	1,738	1,617	1,609	1,596	1,686	1,564	11 ～ 12
10,769	1,356	1,635	1,555	1,557	1,525	1,623	1,518	12 ～ 13
10,580	1,371	1,603	1,522	1,493	1,509	1,646	1,436	13 ～ 14
9,688	1,308	1,420	1,346	1,415	1,414	1,419	1,366	14 ～ 15
9,714	1,288	1,357	1,366	1,396	1,394	1,413	1,500	15 ～ 16
9,609	1,357	1,418	1,336	1,349	1,365	1,399	1,385	16 ～ 17
10,087	1,434	1,362	1,405	1,481	1,434	1,529	1,442	17 ～ 18
9,557	1,409	1,366	1,368	1,307	1,340	1,324	1,443	18 ～ 19
9,027	1,406	1,267	1,213	1,179	1,288	1,285	1,389	19 ～ 20
8,241	1,207	1,130	1,105	1,110	1,187	1,202	1,300	20 ～ 21
7,602	1,185	1,004	1,010	1,063	1,023	1,077	1,240	21 ～ 22
6,993	1018	970	933	905	944	1073	1150	22 ～ 23
6,258	933	781	866	812	802	977	1087	23 ～ 24

第8表

事故種別出場件数及び搬送人員

事故種別	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	244,254	34,603	35,669	34,085	34,020	34,365	35,271	36,241
	186,256	26,016	27,650	26,157	25,988	26,154	27,015	27,276
火 災	711	86	99	96	97	91	115	127
	139	8	17	15	22	16	29	32
自然災害	5	1	－	－	1	－	2	1
	5	1	－	－	1	－	2	1
水 難	83	12	13	8	16	10	11	13
	25	2	5	2	5	2	4	5
交 通	13,160	1590	1791	1928	1955	1945	2050	1901
	10,420	1246	1455	1529	1569	1490	1634	1497
労働災害	1,544	125	218	270	237	250	257	187
	1,491	123	204	262	231	242	250	179
運動競技	775	238	55	55	83	80	85	179
	747	227	53	53	79	80	83	172
一般負傷	38,180	5643	5263	5146	5222	5396	5592	5918
	27,495	4074	3862	3667	3735	3851	4017	4289
加 害	1,987	393	257	241	251	235	249	361
	1,089	228	135	124	137	128	141	196
自損行為	2,419	343	378	335	361	352	328	322
	1,431	213	225	208	204	213	194	174
急 病	174,334	25402	25782	24214	24127	24361	24699	25749
	133,033	19216	19963	18602	18435	18575	18889	19353
そ の 他	11,056	770	1813	1792	1670	1645	1883	1483
	10,381	678	1731	1695	1570	1557	1772	1378

(注) 上段 … 出場件数(件) 下段 … 搬送人員(人)

第9表

日別出場件数

(単位:件)

日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	20,650	17,343	18,810	18,192	19,296	20,020	24,204	23,068	19,558	19,872	19,646	23,595
1日	609	665	630	595	590	662	896	743	665	653	664	641
2日	717	615	629	646	631	733	839	758	693	656	726	731
3日	639	670	608	524	601	664	785	752	703	672	716	686
4日	713	630	627	636	626	700	820	749	714	610	711	666
5日	680	628	613	548	637	629	703	746	747	555	659	676
6日	628	631	588	599	639	588	740	782	634	616	651	679
7日	645	696	668	593	600	605	799	770	661	657	672	649
8日	626	669	622	624	605	591	811	788	653	613	611	691
9日	620	625	604	625	604	602	790	770	617	599	639	724
10日	614	602	645	595	607	583	787	759	708	614	668	767
11日	690	612	663	623	660	594	781	797	684	611	679	707
12日	664	563	602	634	592	649	693	784	695	617	647	762
13日	633	579	581	552	637	651	700	777	651	627	620	689
14日	671	597	661	559	611	613	734	805	627	709	677	728
15日	671	619	598	552	617	646	781	775	640	710	613	695
16日	624	598	537	639	617	663	761	784	691	641	592	778
17日	677	597	539	644	556	653	827	773	619	703	585	771
18日	690	652	536	596	575	675	797	744	670	611	627	785
19日	644	605	544	579	573	658	791	747	580	611	677	781
20日	663	563	622	582	614	715	797	738	599	618	602	804
21日	653	650	616	561	644	624	762	732	608	665	681	771
22日	694	614	595	646	602	646	786	762	651	700	652	765
23日	630	581	573	627	663	701	805	706	609	626	596	821
24日	704	591	567	643	602	696	791	670	668	652	685	851
25日	694	630	631	666	629	762	758	691	643	630	673	793
26日	716	589	654	579	587	706	773	673	665	613	690	832
27日	678	607	670	609	712	736	782	715	610	572	649	814
28日	664	665	616	670	675	733	793	662	566	655	662	864
29日	680		552	585	682	748	707	701	657	653	661	902
30日	680		656	661	675	794	806	699	630	673	661	856
31日	739		563		633		809	716		730		916

第10表

発生場所別救急活動状況

発 生 場 所	計	急 病	一 般	交 通	そ の 他
計	244,254	174,334	38,180	13,160	18,580
	186,256	133,033	27,495	10,420	15,308
住 宅	140,598	118,541	18,393	159	3,505
	108,986	93,463	13,707	137	1,679
公衆出入り場所	56,228	34,878	8,744	287	12,319
	45,931	26,944	7,038	215	11,734
仕 事 場	5,805	4,185	400	23	1,197
	5,279	3,818	334	20	1,107
阪神高速道路	249	17	10	213	9
	204	13		188	3
近畿自動車道	19	3	2	14	0
	18	3	1	14	0
その他の道路	37,816	14,569	9,807	12,283	1,157
	23,394	7,294	5,827	9,701	572
軌 道 上	64	3	35	19	7
	42	2	23	11	6
水 上	158	7	39	3	109
	64	6	14	2	42
公衆の乗降する 運 輸 機 関 内	892	742	97	41	12
	710	581	82	41	6
そ の 他 の 運 輸 機 関 内	385	330	18	16	21
	280	244	11	12	13
その他の屋内	583	384	135	4	60
	384	259	87	3	35
その他の屋外	1,457	675	500	98	184
	964	406	371	76	111

(注) 上段 … 出場件数(件) 下段 … 搬送人員(人)

第11表

活動区分別出場件数

区 分	件 数	搬送人員	区 分	件 数
計	244,254	186,256		
傷病者搬送	185,670	186,256	医師搬送	1
選 択	112,166	112,661	処 置	1
依 頼	63,127	63,214	指 示	-
転 院	10,377	10,381	確 認	-
不搬送	58,583	-	そ の 他	-
他 隊 搬 送	27	-	資 器 材 等 輸 送	0
拒 否	39,986	-	血 液	-
死 亡	3,958	-	医 薬 品	-
傷病者無	2,540	-	資 器 材	-
誤報・いたずら	989	-		
辞 退	3,420	-		
そ の 他	7,663	-		

第12表

理由別不搬送件数

(単位:件)

理 由	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	58,583	579	0	58	3,006	57	31	10,724	915	989	41,546	678
拒 否	39,986	45	-	10	2,488	41	23	7,670	816	664	28,194	35
死 亡	3,958	5	-	30	7	-	-	435	3	240	3,230	8
傷病者無	2,540	501	-	13	207	1	1	1,444	16	14	257	86
他 隊 搬 送	27	-	-	-	3	-	-	5	-	-	19	-
誤 報 等	989	7	-	1	1	-	-	272	8	4	248	448
辞 退	3,420	7	-	-	163	4	5	457	36	20	2,712	16
そ の 他	7,663	14	-	4	137	11	2	441	36	47	6886	85

第13表

医療機関開設主体別搬送人員

(単位:人)

区分	合 計	市 域 内					市 域 外									
		小 計	急 病	一 般	交 通	そ の 他	府 下					府 外				
							小 計	急 病	一 般	交 通	そ の 他	小 計	急 病	一 般	交 通	そ の 他
合計	186,256	170,899	122,364	25,566	9,688	13,281	14,815	10,310	1,879	720	1,906	542	359	50	12	121
国 立	10,562	9,936	7,528	973	313	1,122	563	390	34	7	132	63	38	7	5	13
公 立	14,244	12,542	9,029	1,136	403	1,974	1,474	1,097	95	28	254	228	143	26	2	57
上記以外 の 公 的	16,749	15,781	11,449	2,125	673	1,534	958	736	62	34	126	10	9			1
私 的																
病 院	143,372	131,357	93,335	21,147	8,273	8,602	11,778	8,050	1,687	649	1,392	237	165	17	5	50
診 療 所	1,329	1,283	1,023	185	26	49	42	37	1	2	2	4	4			0
その他の 場 所	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二次・三次 医療機関	172,891	157,960	113,188	23,899	9,282	11,591	14,437	10,062	1,838	718	1,819	494	323	42	12	117
国 立	10,389	9,825	7,462	972	313	1,078	502	355	11	7	129	62	37	7	5	13
公 立	10,024	8,457	6,110	819	357	1,171	1,341	1,020	88	28	205	226	141	26	2	57
上記以外 の 公 的	10,886	9,921	7,453	1,182	383	903	956	734	62	34	126	9	8			1
私 的																
病 院	141,550	129,715	92,122	20,926	8,229	8,438	11,638	7,953	1,677	649	1,359	197	137	9	5	46
診 療 所	42	42	41			1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
初期 医療機関	614	582	494	65	0	23	31	10	20	0	1	1	1	0	-	-
国 立	31	-	-	-	-	-	31	10	20	0	1	0	-	-	-	-
公 立	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
上記以外 の 公 的	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私 的																
病 院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
診 療 所	582	582	494	65	0	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の 医療機関	12,751	12,357	8,682	1,602	406	1,667	347	238	21	2	86	47	35	8	0	4
国 立	142	111	66	1		44	30	25	3		2	1	1		0	-
公 立	4,219	4,085	2,919	317	46	803	133	77	7		49	1	1		0	-
上記以外 の 公 的	5,863	5,860	3,996	943	290	631	2	2			0	1	1		0	-
私 的																
病 院	1,822	1,642	1,213	221	44	164	140	97	10		33	40	28	8	0	4
診 療 所	705	659	488	120	26	25	42	37	1	2	2	4	4		0	
その他の 場 所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第14表

傷病程度別搬送人員

(単位:人)

程 度	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	186,256	139	5	25	10,420	1,491	747	27,495	1,089	1,431	133,033	10,381
軽 症	106,440	59	5	5	8,550	1,038	644	18,547	999	642	74,768	1,183
中等症	75,648	54	-	6	1,746	423	102	8,600	78	536	55,026	9,077
重 症	1,525	14	-	2	90	20	-	121	6	81	1,087	104
死 亡	2,643	12	-	12	34	10	1	227	6	172	2,152	17
不 詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第15表

診療科目別搬送人員

(単位:人)

診 療 科 目	計	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	不 詳
計	186,256	106,440	75,648	1,525	2,643	-
内 科	54,452	32,856	20,975	185	436	-
循環器系内科	16,475	6,343	7,661	762	1,709	-
呼吸器内科	22,988	8,520	14,241	153	74	-
小 児 科	8,864	7,383	1,469	5	7	-
外科 一 般	6,360	3,095	2,675	225	365	-
整形 外 科	25,958	15,281	10,653	22	2	-
脳神経 外 科	33,514	21,889	11,420	164	41	-
産 婦 人 科	2,258	1,076	1,178	2	2	-
泌尿器 科	7,822	4,116	3,701	3	2	-
耳鼻咽喉 科	4,916	4,225	691	-	-	-
眼 科	363	292	71	-	-	-
新生児 科	39	10	26	2	1	-
皮膚 科	974	566	407	1	-	-
精神 科	1,152	704	448	-	-	-
そ の 他	121	84	32	1	4	-

第16表

傷病種別搬送状況

傷病種別	搬送人員	傷病種別	搬送人員
計	186,256	循環器系 心疾患	11,944
感染症及び寄生虫症	14,674	急性リウマチ熱	-
腸管感染症	1,029	慢性リウマチ性心疾患	1
結核	94	高血圧性疾患	1,089
その他の細菌性疾患	385	狭心症	853
ウイルス肝炎	3	急性心筋梗塞	1,444
その他のウイルス疾患	11,392	その他の虚血性心疾患	304
寄生虫症	18	肺性心疾患、肺循環疾患	127
その他の感染症	1,753	その他の型の心疾患	6,075
新生物	2,997	動脈、細動脈、毛細血管の疾患	981
口唇、口腔、咽頭の悪性新生物	67	静脈、リンパ管、リンパ節の疾患	167
消化器の悪性新生物	1,278	循環器系のその他の疾患	903
呼吸器、胸腔内臓器の悪性新生物	707	循環器系 脳疾患	7,585
骨、関節軟骨の悪性新生物	52	くも膜下出血	438
皮膚の悪性新生物	17	脳内出血	1,885
中皮、軟部組織の悪性新生物	22	脳梗塞	4,458
乳房の悪性新生物	117	その他の脳血管疾患	804
女性性器の悪性新生物	119	呼吸器系	12,934
男性性器の悪性新生物	48	上気道の疾患	2,076
尿路の悪性新生物	145	インフルエンザ	125
眼、脳、中枢神経系の悪性新生物	136	肺炎	7,602
内分泌腺の悪性新生物	31	慢性閉塞性肺疾患	542
部位不明、続発部位の悪性新生物	17	喘息	775
リンパ組織、造血器の悪性新生物	166	下気道のその他の疾患	448
独立した多部位の悪性新生物	4	呼吸器系のその他の疾患	1,366
上皮内新生物	4	消化器系	17,000
良性新生物	20	口腔、唾液腺、顎の疾患	73
性状不詳または不明の新生物	47	上部消化管の疾患	3,948
血液・造血器疾患、免疫機構障害	755	急性虫垂炎	807
貧血	503	ヘルニア	319
凝固障害、紫斑病、出血性病態	62	下部消化管のその他の疾患	6,745
血液、造血器のその他の疾患	141	腹膜の疾患	196
免疫機構の障害	49	肝疾患	949
内分泌、栄養及び代謝疾患	5,681	胆のう、胆管、膵の障害	2,801
甲状腺障害	48	消化器系のその他の疾患	1,162
糖尿病	652	皮膚及び皮下組織の疾患	1,213
その他の内分泌腺障害	117	皮膚、皮下組織の感染症	598
栄養欠乏症	101	皮膚、皮下組織のその他の疾患	615
肥満(症)、その他の過栄養	2	筋骨格器系及び結合組織の疾患	4,197
代謝障害	4,761	関節障害	1,030
精神及び行動の障害	1,254	全身性結合組織障害	30
症状性を含む器質性精神障害	101	脊柱障害	1,705
精神作用物質による障害	117	軟部組織障害	889
統合失調症型障害、妄想性障害	221	骨障害、軟骨障害	75
気分[感情]障害	275	筋骨格、結合組織のその他の疾患	468
精神、行動のその他の障害	540	腎尿路生殖器系の疾患	8,398
神経系及び感覚器の疾患	8,701	腎不全	672
中枢神経系の炎症性疾患	159	尿路結石症	2,117
挿間性、発作性障害	3,013	腎、尿管のその他の疾患	1,898
麻痺性症候群	95	膀胱、尿道のその他の疾患	2,373
神経系のその他の疾患	758	男性生殖器の疾患	233
眼及び付属器の疾患	282	乳房、女性生殖器の疾患	1,025
耳及び乳様突起の疾患	4,394	生殖器系のその他の疾患	80

(単位:人)

傷病種別	搬送人員	傷病種別	搬送人員
妊婦、分娩及び産褥	915	切断創	113
分娩	117	轢過創	2
流産に終わった妊娠	150	剥皮創	104
妊娠に関連する母体障害	239	咬創	93
分娩の合併症	162	射創	-
産褥に関連する合併症	28	擦過創	907
その他の産科的病態	219	開放性骨折	273
		その他の開放性外傷	353
周産期に発生した病態	38	多発外傷	350
出産外傷	2	全身打撲骨折	80
周産期に発生したその他の病態	36	頭部及び体幹部骨折	30
先天奇形、変形、及び染色体異常	14	頭部及び上肢骨折	3
		頭部及び下肢骨折	8
症状、徴候及び診断名不明確	37,504	開放創及び骨折	26
循環器系及び呼吸器系	6,923	その他の多発外傷	203
消化器系及び腹部	4,439		
皮膚及び皮下組織	89	その他の外傷	603
神経系及び筋骨格系	759	爆創	-
尿路系	632	熱傷	396
認識、知覚、情緒状態及び行動	1,949	凍傷	1
言語及び音声	59	電撃傷	6
全身症状及び徴候	21,102	化学物質損傷	6
血液検査の異常、診断名記載なし	85	放射線損傷	-
尿検査の異常、診断名記載なし	3	その他の外傷	194
その他検査異常、診断名記載なし	55		
画像診断及び機能検査の異常	6	異物、誤飲	693
診断名不明確及び原因不明の死亡	1,403	外眼異物	24
		耳内異物	7
神経・脊椎損傷	1,009	気道内異物	185
頸髄損傷	170	消化管内異物	399
胸髄損傷	3	尿路性器内異物	2
腰髄損傷	5	その他の異物	76
上肢の神経損傷	6		
下肢の神経損傷	4	窒息	203
頸椎捻挫等	487	酸素欠乏症	5
胸椎捻挫等	6	気道閉塞	198
腰椎捻挫等	283		
その他の神経損傷	45	中毒	5,060
内部損傷	1,866	薬物中毒	975
頭蓋内損傷	1,597	麻薬、覚醒剤	12
気胸・血胸	132	ガス中毒	39
心肺損傷	49	食物中毒(細菌性を除く)	23
腹腔内臓器損傷	67	急性アルコール中毒	3,973
骨盤腔内臓器損傷	21	その他の中毒	38
その他の閉鎖性の外傷	27,523	熱中症	1,447
打撲	12,800	溺水	73
捻挫	755		
脱臼	793	外因のその他	1,112
非開放性骨折	11,879		
その他の閉鎖性外傷	1,296	医療機関以外の場所への搬送	0
開放性の外傷	10,513		
挫創	7,100		
切創	1,037		
裂創・割創	428		
刺創	103		

第17表

年齢層別搬送人員

(単位:人)

年 齢 層	計	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	不 詳
計	186,256	106,440	75,648	1,525	2,643	0
新 生 児 (生後28日未満)	78	23	50	2	3	-
乳 幼 児 (28 日 ～ 6 歳)	8,854	7,519	1,314	11	10	-
少 年 (7 歳 ～ 17 歳)	5,467	4,616	825	18	8	-
成 人 (18 歳 ～ 64 歳)	69,895	50,926	17,953	464	552	-
高 齢 者 (65 歳 以 上)	101,962	43,356	55,506	1,030	2,070	-

第18表

性別、事故種別搬送人員

(単位:人)

	計	0歳～ 9歳	10歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	65歳 以上 (再掲)
計	186,256	10,324	6,399	17,064	11,762	12,663	17,507	18,184	92,353	101,962
性別										
男	95,985	6,095	3,232	7,315	5,657	7,100	10,658	11,696	44,232	50,438
女	90,271	4,229	3,167	9,749	6,105	5,563	6,849	6,488	48,121	51,524
事故種別										
火 災	139	1	1	17	18	12	25	16	49	56
自 然 災 害	5	1	-	-	1	-	1	1	1	2
水 難	25	1	-	2	-	1	5	5	11	11
交 通	10,420	500	738	1,456	1,177	1,298	1,541	1,229	2,481	3,047
労働災害	1,491	-	44	294	216	264	350	202	121	192
運動競技	747	28	371	155	62	47	36	24	24	32
一般負傷	27,495	2,507	555	1,033	852	1,169	2,014	2,619	16,746	18,097
加 害	1,089	17	81	269	164	188	174	95	101	137
自損行為	1,431	1	154	463	237	191	166	85	134	169
急 病	133,033	6,863	4,318	12,905	8,434	8,874	12,294	12,815	66,530	73,486
そ の 他	10,381	405	137	470	601	619	901	1,093	6,155	6,733

第19表

所要時間別搬送人員

(単位:人)

事故種別	計	119番入電から医療機関に収容(医師に引継ぎ)するまでに要した時間					
		10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
計	186,256	6	1,465	30,583	117,275	30,132	6,795
軽 症	106,440	4	720	17,554	69,498	16,321	2,343
中 等 症	75,648	2	647	11,962	45,230	13,446	4,361
重 症	1,525	—	34	331	915	184	61
死 亡	2,643	—	64	736	1,632	181	30
不 詳	0	—	—	—	—	—	—

第20表

転院搬送人員

(単位:人)

区 分	計	救 急 医 療 機 関					そ の 他 の 医 療 機 関				
		国 立	公 立	の左 記 公以 的外	私 的		国 立	公 立	の左 記 公以 的外	私 的	
					病 院	診 療 所				病 院	診 療 所
依頼医療機関	10,381	520	926	647	2,880	5	460	910	707	3,315	11
受入医療機関	10,381	934	1,013	811	6,011	1	46	823	543	184	15

第21表

理由別転院搬送人員

(単位:人)

理 由	計	内 科	循 環 器 系 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科 一 般	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	産 婦 人 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	新 生 児 科	皮 膚 科	精 神 科	そ の 他
計	10,381	2,402	1,907	1,612	348	592	722	1,441	584	408	131	110	9	41	68	6
ベッド満床	274	62	17	81	19	10	34	27	4	18	1			1		
専 門 外	953	164	190	93	10	46	48	260	41	47	10	3		4	37	
病 床 な し	231	48	24	79	9	4	29	17	5	7	1				8	
処 置 困 難	8,088	1,981	1,629	1,119	208	510	576	1,091	525	319	55	11	7	31	21	5
そ の 他	432	82	35	197	10	14	35	34	7	10	1		1	3	2	1
後 送	403	65	12	43	92	8		12	2	7	63	96	1	2		

※後送とは初期救急医療機関から、より高度な設備等を用いた処置を必要とする傷病者を指定の二次救急医療機関へ転院搬送したもの。

第22表

診療科目別転送状況

区 分	計	内 科	循 環 器 系 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科 一 般	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	産 婦 人 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	新 生 児 科	皮 膚 科	精 神 科	そ の 他
人 員	942	208	41	365	7	43	98	98	9	23	9	4	0	3	32	2
回 数	957	210	41	374	7	43	98	100	9	23	9	4	0	3	34	2
処置人員	492	96	25	187	6	31	44	63	2	15	3	3	-	-	16	1

第23表

理由別転送回数

(単位:回)

理 由	合 計	急 病	一 般 負 傷	交 通	そ の 他	救急医療機関					その他の医療機関				
						小 計	急 病	一 般 負 傷	交 通	そ の 他	小 計	急 病	一 般 負 傷	交 通	そ の 他
計	957	762	129	29	37	898	720	114	29	35	59	42	15	0	2
ベッド満床	232	203	22	5	2	229	200	22	5	2	3	3	-	-	-
専門外	133	87	29	5	12	126	85	26	5	10	7	2	3	-	2
病床なし	40	38	1	-	1	35	33	1	-	1	5	5	-	-	-
処置困難	283	195	53	16	19	262	182	45	16	19	21	13	8	-	-
その他	265	236	23	3	3	246	220	20	3	3	19	16	3	-	-
後 送	4	3	1	-	0	0	-	-	-	-	4	3	1	-	-

※後送とは初期救急医療機関へ救急搬送したもの内、より高度な設備等を用いた処置が必要であったため指定の二次救急医療機関に転送したもの。

第24表

回数別転送状況

(単位:人)

事 故 種 別	転送なし (A)	転 送 あ り				搬送人員 (C) = (A) + (B)	転送率(%) (B) / (C) × 100
		1 回	2 回	3回以上	小計(B)		
計	185,299	942	14	1	957	186,256	0.5
急 病	132,271	749	12	1	762	133,033	0.6
一 般 負 傷	27,366	128	1	-	129	27,495	0.5
交 通	10,391	28	1	-	29	10,420	0.3
そ の 他	15,271	37	-	-	37	15,308	0.2

第25表

要保護傷病者搬送状況

(単位:人)

行政区	計	内科	循環器系内科	呼吸器内科	小児科	外科一般	整形外科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	新生児科	皮膚科	精神科	その他
計	899	311	85	109	32	57	1	91	148	1	3	27	13	2	13	6
北	79	34	7	6	1	2	—	10	11	—	1	3	1	—	3	—
都 島	31	8	5	2	1	2	—	2	8	—	—	2	—	—	—	1
福 島	8	4	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—
此 花	8	3	1	1	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—
中 央	50	20	6	2	2	7	—	2	9	—	—	—	1	—	—	1
西	20	9	1	4	1	2	—	1	1	—	—	1	—	—	—	—
港	33	13	2	5	2	1	—	4	5	—	—	—	1	—	—	—
大 正	17	7	4	—	—	—	—	3	1	—	—	—	—	—	2	—
天王寺	19	7	2	—	—	1	—	3	3	—	1	2	—	—	—	—
浪 速	50	18	5	2	1	6	—	5	10	—	—	—	2	—	1	—
西淀川	16	4	3	1	—	—	—	3	3	—	—	—	2	—	—	—
淀 川	29	10	2	2	2	—	—	4	6	—	—	1	2	—	—	—
東淀川	25	9	—	5	2	—	—	3	5	—	—	—	1	—	—	—
東 成	14	5	1	3	—	1	—	1	2	—	—	1	—	—	—	—
生 野	41	13	6	3	2	2	—	2	9	—	—	2	—	—	2	—
旭	16	5	1	2	—	1	—	1	4	—	—	1	—	1	—	—
城 東	29	8	1	6	1	2	—	2	6	—	—	1	—	1	—	1
鶴 見	16	5	—	4	2	—	—	2	2	—	—	—	—	—	1	—
阿倍野	35	7	4	2	6	4	1	4	2	—	—	3	—	—	—	2
住之江	23	5	2	5	—	1	—	5	5	—	—	—	—	—	—	—
住 吉	25	10	2	3	1	1	—	3	4	—	—	1	—	—	—	—
東住吉	54	14	5	10	5	2	—	6	7	—	1	2	1	—	1	—
平 野	63	17	4	10	3	4	—	6	12	1	—	4	2	—	—	—
西 成	197	76	21	31	—	17	—	15	30	—	—	3	—	—	3	1
水上区	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市域外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第26表

救急車走行距離及び所要時間

隊			出場件数	出場 → 帰署(所)				出場	
				走行距離(km)		所要時間(分)		走行距離(km)	
				延	平均	延	平均	延	平均
本部救急隊	計		244,254	2,477,516.9	10.1	16,344,947	66.9	550,501.7	2.3
	本部指導第1		137	1861.9	13.6	11,824	86.3	663.2	4.8
	本部指導第2		1,448	14750.6	10.2	94,091	65.0	4,236.0	2.9
	本部機動第1		2,450	21934.9	9.0	149,795	61.1	6,436.0	2.6
	本部機動第2		1,018	9672.7	9.5	68,263	67.1	2,789.7	2.7
北	北森	町	4,103	33,061.8	8.1	263,818	64.3	8,451.7	2.1
	南浮大	淀島	3,838	32,238.1	8.4	260,702	67.9	8,366.1	2.2
	都島	1	4,266	33,720.7	7.9	269,110	63.1	8,702.5	2.0
	都島	2	3,363	30,146.7	9.0	219,292	65.2	8,043.1	2.4
	東福	野田	3,919	36,539.3	9.3	273,144	69.7	9,129.7	2.3
福島	福海	江	2,029	19,683.4	9.7	148,239	73.1	5,370.2	2.6
	此花	1	3,662	33,019.2	9.0	253,308	69.2	8,473.2	2.3
	此花	2	3,580	29,738.3	8.3	205,753	57.5	8,046.2	2.2
	中央	1	2,983	26,230.3	8.8	174,602	58.5	6,900.2	2.3
	中央	2	3,211	33,336.4	10.4	195,262	60.8	7,847.8	2.4
西	道上	央堀	2,986	29,943.6	10.0	178,986	59.9	7,496.7	2.5
	頓堀	町	3,647	34,508.1	9.5	252,310	69.2	7,974.0	2.2
	西戸	堀	4,042	33,511.7	8.3	250,221	61.9	6,420.7	1.6
	江新	町	3,671	34,563.9	9.4	256,944	70.0	7,676.1	2.1
	大天王寺	正	3,359	32,089.0	9.6	220,679	65.7	7,748.5	2.3
浪速	浪速	本署	3,563	32,949.8	9.2	225,782	63.4	7,657.9	2.1
	浪速	本署	3,967	35,264.8	8.9	253,014	63.8	7,972.7	2.0
	浪速	(出)	3,482	33,230.1	9.5	224,203	64.4	7,344.5	2.1
	西淀川	淀川	2,908	30,362.4	10.4	212,097	72.9	7,010.0	2.4
	淀川	1	3,996	38,742.7	9.7	267,938	67.1	8,887.6	2.2
東淀川	東淀川	2	2,035	21,033.5	10.3	147,312	72.4	5,222.9	2.6
	小松	路	3,891	33,281.9	8.6	219,256	56.3	7,745.0	2.0
	西淡	成	3,704	32,971.7	8.9	215,383	58.1	7,530.7	2.0
	東成	成	4,160	35,726.9	8.6	259,100	62.3	7,839.4	1.9
	東成	成	3,687	34,530.6	9.4	245,314	66.5	7,721.6	2.1
生野	生野	川	3,503	34,481.7	9.8	217,605	62.1	7,091.4	2.0
	旭	1	3,050	29,809.0	9.8	199,185	65.3	6,331.8	2.1
	旭	2	4,013	39,923.1	9.9	255,379	63.6	9,673.1	2.4
	城東	1	3,767	37,648.4	10.0	252,477	67.0	9,115.5	2.4
	城東	2	2,883	33,148.3	11.5	211,609	73.4	6,916.6	2.4
鶴見	鶴見	1	3,849	39,783.7	10.3	259,786	67.5	8,611.5	2.2
	阿倍野	1	3,644	40,840.4	11.2	251,348	69.0	7,302.3	2.0
	阿倍野	2	4,086	39,863.2	9.8	258,782	63.3	9,455.6	2.3
	阿倍野	1	4,090	37,312.3	9.1	249,792	61.1	8,749.8	2.1
	阿倍野	2	3,841	36,744.3	9.6	242,020	63.0	8,346.6	2.2
阿倍野	阿倍野	1	3,599	38,551.6	10.7	262,211	72.9	8,085.3	2.2
	阿倍野	2	2,874	32,536.3	11.3	237,022	82.5	6,117.4	2.1
	阿倍野	1	3,018	38,666.3	12.8	245,618	81.4	6,997.7	2.3
	阿倍野	2	4,191	41,615	9.9	266,961	63.7	10,497.0	2.5
	阿倍野	1	4,082	40,808	10.0	250,338	61.3	10,270.3	2.5
阿倍野	阿倍野	1	4,053	39,553	9.8	261,629	64.6	9,580.7	2.4
	阿倍野	2	3,713	34,546	9.3	238,746	64.3	8,425.0	2.3
	阿倍野	1	3,716	37,420	10.1	247,576	66.6	8,356.6	2.2
	阿倍野	2	3,412	37,183	10.9	233,878	68.5	7,743.6	2.3
	阿倍野	1	3,185	34,345	10.8	220,247	69.2	7,241.2	2.3
阿倍野	阿倍野	1	3,323	39,385	11.9	257,170	77.4	7,617.0	2.3
	阿倍野	2	3,375	39,769	11.8	247,542	73.3	7,656.5	2.3
	阿倍野	1	3,446	38,877.9	11.3	252,167	73.2	7,867.5	2.3
	阿倍野	2	4,263	47,854.8	11.2	276,079	64.8	9,929.6	2.3
	阿倍野	1	2,088	24,282.9	11.6	140,251	67.2	5,425.8	2.6
阿倍野	阿倍野	2	2,044	38,109.0	18.6	150,729	73.7	6,361.8	3.1
	阿倍野	1	3,612	36,291.8	10.0	246,865	68.3	8,007.6	2.2
	阿倍野	2	3,428	34,482.9	10.1	234,628	68.4	7,619.2	2.2
	阿倍野	1	3,473	39,937.6	11.5	240,873	69.4	7,560.6	2.2
	阿倍野	2	3,607	43,081.8	11.9	267,036	74.0	8,630.1	2.4
阿倍野	阿倍野	1	1,830	22,594.3	12.3	145,246	79.4	4,752.5	2.6
	阿倍野	2	3,326	40,273.0	12.1	243,175	73.1	7,981.4	2.4
	阿倍野	1	3,624	45,218.0	12.5	251,257	69.3	8,263.9	2.3
	阿倍野	2	3,475	44,175.0	12.7	235,229	67.7	8,006.1	2.3
	阿倍野	1	3,341	41,438.9	12.4	232,961	69.7	6,920.9	2.1
阿倍野	阿倍野	2	3,955	44,863.7	11.3	253,896	64.2	7,879.8	2.0
	阿倍野	1	3,987	39,536.2	9.9	265,927	66.7	8,344.1	2.1
	阿倍野	2	3,893	37,885.0	9.7	253,120	65.0	8,283.3	2.1
	阿倍野	1	4,345	32,208	7.4	269,876	62.1	6,938.7	1.6
	阿倍野	2	4,326	32,105	7.4	261,785	60.5	6,780.4	1.6
阿倍野	阿倍野	1	3,173	34,363.0	10.8	219,232	69.1	7,764.0	2.4
	阿倍野	2	2,273	33,635.4	14.8	178,769	78.6	6,464.4	2.8
	阿倍野	1	1	999.0	999.0	300	300.0	0.0	0.0
	阿倍野	2	4,372	52,726.4	12.1	342,883	78.4	14,833.6	3.4
	阿倍野	1							

※増強救急隊とは、特別警戒及び救急需要増大時の増強隊。

→ 現場		傷病者 搬送件数	現場 → 病院				隊								
所要時間(分)			走行距離(km)		所要時間(分)										
延	平均		延	平均	延	平均									
1,613,353	6.6	186,256	852,228.9	4.6	6,718,906	36.1	本部救急隊	計	本部指導第1	本部指導第2	本部機動第1	本部機動第2			
1,566	11.4	120	518.5	4.3	4,879	40.7									
10,591	7.3	1,261	4,775.6	3.8	38,955	30.9									
17,999	7.3	1,947	6,846.0	3.5	60,044	30.8									
7,507	7.4	877	3,052.5	3.5	27,152	31.0	北	南	浮	大	都	島	北	森	町
26,238	6.4	3,186	11,085.7	3.5	106,003	33.3									
25,799	6.7	2,945	10,821.3	3.7	104,983	35.6									
26,893	6.3	3,223	11,066.6	3.4	107,221	33.3									
22,182	6.6	2,608	9,859.4	3.8	85,412	32.8	都	島	都	島	野	老	花	江	
27,423	7.0	3,118	12,112.4	3.9	111,921	35.9									
15,442	7.6	1,635	6,267.3	3.8	60,993	37.3									
23,511	6.4	2,778	10,641.7	3.8	103,057	37.1									
23,705	6.6	2,904	9,884.7	3.4	84,564	29.1	福	島	福	海	此	花	花	江	
19,807	6.6	2,397	8,690.7	3.6	71,455	29.8									
23,251	7.2	2,564	12,112.8	4.7	80,023	31.2									
21,961	7.4	2,279	10,440.6	4.6	73,201	32.1									
25,104	6.9	2,803	10,868.9	3.9	101,197	36.1	中	央	中	道	上	頓	堀		
25,313	6.3	2,661	10,540.3	4.0	93,842	35.3									
24,631	6.7	2,699	11,055.0	4.1	103,620	38.4									
21,368	6.4	2,725	11,561.8	4.2	95,457	35.0									
22,245	6.2	2,708	10,457.0	3.9	89,407	33.0	西	江	新	港	西	戸	堀		
24,709	6.2	2,862	11,368.3	4.0	99,619	34.8									
21,372	6.1	2,868	12,318.5	4.3	96,470	33.6									
19,152	6.6	2,402	10,987.3	4.6	93,929	39.1									
25,622	6.4	2,993	13,815.0	4.6	107,933	36.1	大	天	王	寺	正	1			
14,701	7.2	1,613	7,094.3	4.4	58,575	36.3									
21,980	5.6	2,484	10,266.0	4.1	88,741	35.7									
22,178	6.0	2,491	10,123.9	4.1	86,466	34.7									
22,019	5.3	2,696	11,590.3	4.3	100,826	37.4	浪	速	浪	速	本	署	須		
22,265	6.0	2,715	12,052.2	4.4	107,070	39.4									
21,365	6.1	2,873	13,264.0	4.6	93,192	32.4									
19,849	6.5	2,517	11,093.3	4.4	89,266	35.5									
29,937	7.5	3,106	13,934.4	4.5	104,870	33.8	淀	川	大	淀	川	田			
27,840	7.4	2,929	13,229.2	4.5	103,480	35.3									
21,188	7.3	2,193	11,367.2	5.2	87,618	40.0									
25,823	6.7	3,175	15,046.8	4.7	111,871	35.2									
23,229	6.4	2,942	15,308.9	5.2	106,662	36.3	東	淀	小	淡	成	路			
27,486	6.7	3,299	14,113.8	4.3	110,078	33.4									
25,996	6.4	3,043	12,625.8	4.1	99,553	32.7									
25,590	6.7	2,882	12,320.9	4.3	96,150	33.4									
23,921	6.6	2,704	13,180.0	4.9	103,585	38.3	東	成	東	成	成	2			
20,884	7.3	2,333	11,586.7	5.0	96,449	41.3									
20,263	6.7	2,431	13,988.2	5.8	104,091	42.8									
29,308	7.0	3,102	13,440.0	4.3	109,485	35.3									
26,880	6.6	3,126	13,371.7	4.3	102,551	32.8	旭	旭	旭	東	東	1			
28,763	7.1	3,357	12,802.1	3.8	110,014	32.8									
25,369	6.8	2,980	11,074.3	3.7	92,739	31.1									
23,687	6.4	3,085	12,876.9	4.2	99,468	32.2									
24,305	7.1	2,892	13,506.4	4.7	103,846	35.9	鶴	見	中	鶴	見	見	1		
22,218	7.0	2,701	12,391.7	4.6	97,995	36.3									
22,479	6.8	2,484	13,474.8	5.4	107,867	43.4									
22,447	6.7	2,527	14,057.4	5.6	107,209	42.4									
24,163	7.0	2,487	13,209.0	5.3	97,189	39.1	阿	倍	野	阿	倍	野	南		
26,351	6.2	3,250	17,085.1	5.3	119,413	36.7									
14,840	7.1	1,637	8,500.5	5.2	59,506	36.4									
14,112	6.9	1,635	14,865.9	9.1	66,274	40.5									
26,380	7.3	2,663	12,640.0	4.7	101,754	38.2	住	之	江	住	之	江	2		
23,215	6.8	2,387	11,769.2	4.9	93,790	39.3									
22,336	6.4	2,568	14,073.3	5.5	100,456	39.1									
25,175	7.0	2,585	14,872.7	5.8	101,923	39.4									
13,825	7.6	1,393	7,420.7	5.3	56,023	40.2	東	住	吉	東	住	吉	1		
22,886	6.9	2,477	14,004.3	5.7	97,215	39.2									
23,691	6.5	2,789	16,822.6	6.0	108,173	38.8									
21,389	6.2	2,717	16,557.2	6.1	101,119	37.2									
20,200	6.0	2,500	15,046.2	6.0	101,152	40.5	平	野	平	長	喜	吉	連		
21,309	5.4	2,959	16,385.5	5.5	104,451	35.3									
25,538	6.4	2,908	13,524.5	4.7	112,337	38.6									
22,778	5.9	2,781	13,175.9	4.7	104,393	37.5									
22,893	5.3	2,826	10,975.8	3.9	103,079	36.5	西	成	西	海	成	道	1		
21,966	5.1	2,794	11,045.5	4.0	101,200	36.2									
21,874	6.9	2,467	11,394.4	4.6	93,060	37.7									
15,026	6.6	1,853	11,974.7	6.5	78,994	42.6									
0	0.0	1	700	700.0	110	110.0	水	航	増	強	空	救	急	上	隊
38,045	8.7	3,336	15,856.8	4.8	136,241	40.8									

第27表

覚知方法別受信件数

(単位:件)

計	119	救急安心センター	警察電話	加入電話	自己覚知	かけつけ	聴言障害	その他
244,254	232,360	3,893	4,648	1,944	342	677	4	386

第28表

PA連携活動支援種別状況

(単位:件)

計	救命	高速救急	人的補助	安全管理	情報収集	その他
6,936	6,351	221	161	28	24	151

第29表

他市町村との協力状況

市町村	市域外直接出場		市町村	中継活動			
	件数 (件)	搬送人員 (人)		他市救急隊に 件数 (件)	搬送人員 (人)	他市救急隊から 件数 (件)	搬送人員 (人)
合計	52	38	合計	-	-	-	-
府下			府下	-	-	-	-
八尾市	4	3	府外	-	-	-	-
東大阪市	20	18					
松原市	3	2					
摂津市	1	1					
守口市	3	1					
吹田市	5	1					
堺市	7	6					
豊中市	4	3					
大東市	1	1					
府外							
尼崎市	4	2					

第30表

応急手当普及啓発の実施状況

講習種類	実施回数(回)	年延受講者(人)
救命入門コース	213	3,851
普通救命講習	886	13,609
上級救命講習	74	1,233
応急手当普及員講習	34	550
応急手当普及員再講習	73	1,185
応急手当普及員が実施した講習	850	14,676
応急手当指導員講習	2	130

第31表

救急活動状況の推移

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出 場 件 数	242,612	245,105	217,430	218,050	244,254
搬 送 人 員	200,822	203,379	176,633	174,696	186,256
医 師 搬 送 件 数	6	10	9	3	1
資 器 材 等 輸 送 件 数	—	—	3	2	—
不 搬 送 件 数	42,620	42,482	41,291	43,855	58,583
地 域 別					
市 域 内 出 場 件 数	242,562	245,034	217,384	218,005	244,202
市 域 外 出 場 件 数	50	71	46	45	52
1 隊あたりの出場件数	3,851.0	3,829.8	3,151.1	3,115.0	3,440.2
1 隊あたりの搬送人員	3,187.7	3,177.8	2,559.9	2,495.7	2,623.3
1 日あたりの出場件数	664.7	671.5	594.1	597.4	669.2
1 日1隊あたりの出場件数	10.6	10.5	8.6	8.5	9.4
1 日あたりの最多出場件数	985	852	861	782	916
救 急 車 台 数					
常 備 車	63	64	69	70	71
予 備 車	16	16	18	18	20
人 口	2,725,006	2,740,202	2,750,995	2,748,839	2,758,013

第32表

年別救急活動状況

年	救 急 隊 数	出 場 件 数	搬 送 人 員
昭和24	1		
25	3		
26	3		
27	3		
28	3		
29	3		
30	3		
31	3		
32	3		
33	5		
34	5		
35	5		
36	7		
37	7		
38	8		
39	21		20,317
40	21	31,986	26,735
41	22	36,911	31,568
42	22	39,796	33,409
43	24	45,248	38,215
44	24	51,600	42,704
45	24	57,830	47,654
46	26	61,835	52,146
47	26	66,369	56,615
48	26	73,634	63,443
49	28	72,436	62,126
50	31	74,988	63,953
51	32	74,945	64,232
52	33	78,212	68,617
53	34	78,739	69,157
54	35	79,925	70,802
55	36	83,889	75,068
56	37	84,041	75,367
57	37	88,029	78,755
58	37	89,325	80,195
59	37	90,173	80,878
60	38	93,043	83,958
61	38	93,140	84,423
62	38	97,872	88,397
63	38	101,810	92,203
平成元	38	106,551	97,538
2	39	113,217	103,574
3	42	116,823	107,302
4	42	117,027	107,471
5	46	120,779	111,022
6	46	123,438	113,029
7	46	135,026	123,161
8	48	139,887	127,540
9	49	141,687	128,559
10	50	150,687	135,235
11	50	153,578	137,976
12	50	164,973	148,075
13	50	174,881	155,554
14	50	178,349	158,044
15	50	187,396	165,760
16	50	194,685	172,572
17	50	202,468	178,647
18	50	205,036	179,675
19	59	204,373	173,923
20	60	193,368	161,251
21	60	197,366	161,251
22	60	205,068	165,189
23	60	210,194	166,721
24	60	214,953	170,801
25	60	220,131	175,787
26	60	218,281	176,408
27	60	219,876	178,907
28	60	226,048	183,938
29	63	229,013	188,137
30	63	242,612	200,882
令和元	64	245,105	203,379
2	69	217,430	176,633
3	70	218,050	174,696
4	71	244,254	186,256

参 考 資 料

昭和50年以降の特異救急事故

年別	発生日時		事故発生場所	事故種別	傷病者				
	月日	時分			軽症	中等症	重症	死亡	合計
50	3・10	6:20	西成区萩之茶屋1丁目8-20 KK千成ホテル	火災	50	5	1	4	60
	4・17	21:54	東区杉山町1 熊谷組 森之宮工事現場地下作業場	火災	12	0	6	0	18
	4・29	22:28	大阪南港フェリー埠頭	水難	10	1	1	0	12
52	1・26	2:02	大正区三軒家東2丁目3-10 遠州屋	火災	0	0	0	5	5
	5・19	2:05	港区海岸通4-5 大阪港第8突堤 ユニオンオーストラリア号	労災	0	0	0	7	7
	6・24	1:18	大正区三軒家東5丁目3-27 柳井建設KK	火災	2	0	4	12	18
	7・10	13:30	港区田中3丁目1-5 大阪国際見本市会場 くみあい家具フェア	急病	350	449	1	0	800
	10・9	18:20	鶴見区鶴見1~6丁目全域	急病	77	0	10	0	87
	10・18	1:50	城東区中浜1丁目 全域	急病	45	18	0	0	63
54	1・26	14:35	住吉区万代東1丁目15 三菱銀行 北島支店	加害	16	13	0	5	34
	1・30	20:00	港区石田2丁目3 大阪港内 ホーロン号	急病	15	12	2	0	29
	5・21	13:56	阿倍野区美章園1丁目1-2 KK住吉ゴム	火災	0	0	0	7	7
55	5・26	17:02	西淀川区出来島2-2 国道43号線交差点	交通	13	3	0	0	16
	6・14	15:52	都島区高倉1丁目3-22 高倉幼稚園	急病	42	29	0	0	71
57	1・29	8:24	天王寺区悲田院町10-53 国鉄天王寺駅	交通	103	2	0	0	105
60	4・21	13:30	北区中之島5丁目3-51 大阪国際貿易センター	急病	21	16	0	0	37
	12・8	5:50	東住吉区桑津3丁目28-1 KK三和電器製作所	一般	118	4	0	0	122
61	2・12	2:23	西成区花園北2丁目17-20 東洋ハウス	火災	1	0	7	5	13
	2・28	2:03	生野区中川西2丁目2-4 大衆スタンド一福	火災	0	0	2	8	10
	5・5	18:09	北区梅田3丁目1-1 国鉄大阪駅西口	急病	7	14	0	0	21
63	5・18	1:52	港区海岸通1丁目5番街区 1号岸壁(中央突堤北岸壁) プレミアムーリエ号	火災	23	8	4	11	46

年 別	発生日時		事故発生場所	事 故 種 別	傷 病 者				
	月 日	時 分			軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	合 計
元	3・7	15:10	旭区太子橋1－26先 淀川河川	運動	14	0	0	3	17
	8・27	14:18	天王寺区悲田院町10－48 JR天王寺駅4番線	交通	46	0	0	0	46
2	4・2	12:15	花博会場内 街のエリア(守口市 城)ウォーターライド アドベンチャー・クルーズ	一般	19	2	3	0	24
	10・2	18:00	西成区萩之茶屋1丁目及び2丁目 西成警察周辺	一般	101	36	1	0	138
3	3・1	17:30	東成区大今里6丁目1－1 コクヨ(株)本社ビル	急病	8	17	0	0	25
5	3・24	3:23	大正区千島2丁目4－3 千島市営住宅3号棟	火災	20	0	0	0	20
	10・5	17:29	住之江区泉1丁目1 南港ポートタウン線 住之江公園 駅	交通	176(救急隊による搬送人員と現場処置数)				
7	3・2	9:30	平野区背戸口5丁目 阪神高速松原線上り6. 5KP	交通	39	0	0	0	39
	9・18	0:30	中央区心斎橋筋2丁目4－5 パブレストランいろはにほへと 宗右衛門町店	加害	23	0	0	0	23
9	8・4	15:30	平野区長吉長原西1丁目1－10 ダイエー長吉店	一般	28	12	0	0	40
	10・2	10:18	中央区城見2丁目1－61 ナショナルツインタワー2階2号 エスカレーター	一般	31	0	1	0	32
17	9・26	18:42	北区西天満6丁目7番2号 新日本梅新ビル	火災	20	6	0	0	26
18	12・12	21:53	此花区北港緑地2-3-75 ロッジ舞洲	急病	24	37	0	0	61
19	7・31	10:15	西区本田3丁目3番 阪神高速16号港線上り2.3KP	交通	32	1	0	0	33
20	10・1	2:59	浪速区難波中3丁目3番23号 個室ビデオキャッツ難波店	火災	3	3	4	15	25
21	7・5	16:16	此花区四貫島1丁目5番6号 児島建設ビル1階 cross-ニコニコ(パチンコ店)	火災	4	3	5	4	16
22	2・3	10:21	住之江区粉浜2丁目6番6号 市立粉浜小学校	火災	31	1	0	0	32
	12・10	11:05	中央区久宝寺町3丁目1番9号 株式会社ヒガシトゥエンティワン 本社ビル	火災	12	0	1	0	13
24	8・18	14:17	東住吉区長居公園1番 長居公園	自然	8	1	0	2	11
3	12・17	10:18	北区曽根崎新地1丁目3番17号 堂島北ビル	火災	1	0	3	24	28

大阪市消防(救急関連)のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	消 防 組 織 法 公 布	12 月 23 日消防組織法(法律 226 号)の公布により、消防は警察機構から分離して、市町村に移管され、市町村の責任管理のもとに運営されることとなった。
昭和 23 年 (1948)	市 議 会 で の 議 決 自 治 体 消 防 の 発 足 救 急 車 の 運 用 開 始 消 防 法 の 公 布 施 行	1 月定例市議会に、大阪市消防発足に伴う条例案及び受入準備案を上程可決し、同時に消防委員会を設置して、受入体制が完了した。 3 月、大阪市消防本部の設置、名称、組織及び管轄区域に関する条例を公布施行し、大阪市消防が発足した。 4 月、北消防署に救急車 1 台を置き、救急業務を開始した。 7 月、消防法(法律 186 号)が公布施行された。
昭和 25 年 (1950)	消 防 宝 く じ の 発 売	1 月、消防設備経費にあてるため、宝くじを発売し、その収益金で救急車 2 台を含む消防車両計 20 台を増強した。
昭和 28 年 (1953)	救 急 隊 に 関 す る 規 則 制 定	10 月、大阪市消防救急隊に関する規則を制定し、救急業務範囲が明確化された。
昭和 33 年 (1958)	搬 出 車 (OS-24 型 救 出 車) の 運 用 開 始	7 月、大阪市消防救急隊に関する規則を廃止、大阪市消防救出隊に関する規則を制定。これにより、西、天王寺の各消防署に救出車(OS-24 型救出車)を配置した。
昭和 38 年 (1963)	救 急 業 務 の 法 制 化 消 防 法 施 行 令 改 正	4 月、消防法の一部改正により救急業務が法制化されたため 12 月に従来の「救出車」を「救急車」と名称変更し、車体の色を朱色から白色にもどし運用を開始した。発足当初は 7 隊であったが、増強して各署 1 隊計 21 隊となった。 12 月、消防法施行令の改正(令 44①)。救急自動車 1 台と救急隊員 3 人以上をもって編成。
昭和 39 年 (1964)	救 急 業 務 実 施 基 準 の 制 定 救 急 業 務 を 開 始	3 月、救急業務実施基準の制定。 4 月、昭和 38 年 4 月の消防法の改正に伴い“救急業務運用規定”を制定、市役所前で新型救急車(OS-41 型)を披露し、救急隊の発足式を行った。
昭和 42 年 (1967)	救 急 指 令 台 の 運 用 開 始	3 月、ワンタッチシステムの救急指令台が完成し、運用を開始した。
昭和 46 年 (1971)	救 急 車 の サ イ レ ン 切 替	7 月、救急車のサイレンをピーポー音に一斉切替した。
昭和 48 年 (1973)	機 構 改 革	4 月、警防部において救急係を救急課に昇格させた。
昭和 52 年 (1977)	消 防 局 別 館 (コ ン ピ ュ ー タ 棟) 竣 工	3 月、火災・救急指令業務自動化事業の一環として、コンピュータ機器一式及びこれに関連する通信機器、電気設備等を収容するコンピュー

昭和 53 年 (1978)	機 構 改 革 応 急 処 置 の 基 準 の 制 定 指 令 業 務 の 自 動 化 シ ス テ ム 運 用 開 始 消 防 法 施 行 令 の 一 部 改 正	タ棟が完成した。 4 月、警防部を計画課、司令課、救急課、機械課とした。 7 月、応急処置の基準の制定。応急処置を行うことができる救急隊員は救急業務実施基準の 135 時間修了者に限定。 10 月、全国初の火災・救急指令業務のコンピュータによる自動化システムが完成、運用を開始した。 12 月、消防法施行令の一部改正（昭和 57 年 4 月施行）。救急隊員に一定の講習受講を義務づけ（令 44③）。
昭和 56 年 (1981)	消 防 法 施 行 規 則 の 一 部 改 正	12 月、消防法施行規則の一部改正（昭和 57 年 4 月施行）。令 44③に基づき 135 時間講習のカリキュラムを規定（則 51）。
昭和 57 年 (1982)	「救急の日」の制定	7 月、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年 9 月 9 日を「救急の日」とし、この日を含む 1 週間が「救急医療週間」として制定された。
昭和 60 年 (1985)	救 急 隊 の 増 隊	10 月、救急隊 1 隊を新たに大淀町出張所に配置、業務を開始した。
昭和 61 年 (1986)	消 防 法 の 改 正	4 月、消防法の改正により、事故以外の急病人も対象とするとともに、緊急避難としての応急手当を明文化。
昭和 63 年 (1988)	機 構 改 革	4 月、救急課を救急救助課とした。
平成 3 年 (1991)	救 急 救 命 士 法 制 定 救 急 救 命 中 央 研 修 所 開 設 応 急 処 置 の 基 準 の 改 正	4 月、救急救命士法制定 8 月、救急救命中央研修所(救急アカデミー)開設。(台東区上野) 8 月、応急処置の基準の改正（拡大 9 項目）。9 項目の実施には、250（115 +135）時間講習の受講が必要。 ・消防学校の教育訓練の基準の一部改正。専科教育の救急科にⅠ課程（135）とⅡ課程（115）を位置づけ。 ・救急業務実施基準の改正（第 6 条）。救急救命士とⅡ課程（115）の修了者をもって救急隊を編成するよう努めるものとする。
平成 4 年 (1992)	大 阪 市 救 急 教 育 セ ン タ ー の 竣 工 高 規 格 救 急 車 の 配 置 第 1 回 救 急 救 命 士 国 家 試 験	3 月、救急救命士養成教育など、救急教育専用の施設として「大阪市救急教育センター」が消防学校内に竣工した。 3 月、高規格救急車 1 台を西消防署に配置した。 3 月、第 1 回救急救命士国家試験に、全国で 4,301 名が受験、3,177 名が合格。当局からは 41 名が受験し、全員合格した。
平成 5 年 (1993)	救 急 救 命 中 央 研 修 所 が 改 称 救 急 救 命 東 京 研 修 所 が 移 転	4 月、救急救命中央研修所が救急救命東京研修所に改称。 10 月、救急救命東京研修所が移転(八王子市南大沢)。

	高規格救急車を全署に配置	11月、市内全消防署に高規格救急車を配置。
平成6年 (1994)	各種救命講習制度がスタート	4月、市民に対する救命講習会及び指導員講習、普及員講習を開始。
平成7年 (1995)	救急救命九州研修所が開設	3月、救急救命九州研修所が開設。
平成8年 (1996)	高規格救急車導入率100% 大阪市患者等搬送事業者協会と協定を締結 救急隊2隊を増隊	1月、市内の全救急隊46隊が高規格救急車となった。 8月、大規模災害時の搬送業務にかかる協定を締結。 10月、救急隊2隊を増隊し、48隊体制となった。
平成9年 (1997)	救急隊1隊を増隊	7月、救急隊1隊を増隊し、49隊体制になった。
平成10年 (1998)	消防システム「ANSIN」運用開始 「大阪市救急情報サービス」開始 救急隊1隊を増隊	4月、消防車等の位置、動態を即時に把握する機能と、必要情報をデジタル無線を使用し送受信できる機能を持ったシステム「ANSIN」を導入。 4月、市民からの救急に関する問い合わせに専用電話を使って応じる「大阪市救急情報サービス」を開始した。 10月、救急隊1隊を増隊し、50隊体制となった。
平成11年 (1999)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 タイ国・コンケン県へ職員派遣	5月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員2名を派遣した。 10月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員1名を派遣した。
平成12年 (2000)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 教育訓練の基準の一部改正	4月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員1名を派遣した。 I・II課程を統合した標準課程(250)を創設。
平成13年 (2001)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 機構改革 女性救急隊員配置	1月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員1名を派遣した。 4月、警防部を計画情報課、司令課、救急課、救助課の4課とした。 10月、女性救急隊員2名を天王寺消防署救急隊に配置した。

平成 14 年 (2002)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 全国救急隊員シンポジウムの開催 タイ国・コンケン県へ職員派遣 「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」報告書	1 月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員 1 名を派遣した。 1 月、全国救急隊員シンポジウムを大阪国際会議場において開催した。 3 月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。 12 月、総務省消防庁と厚生労働省が共同で設置した検討会で、救急救命士の業務範囲拡大を認めるべき等の報告書がとりまとめられた。
平成 15 年 (2003)	救急救命士法施行規則の一部改正 市長村の救急業務実施義務制度廃止 e メールによる 119 番通報を開始 タイ国コンケン県へ職員派遣 教育訓練の基準の全部改正	4 月、包括的指示下での除細動実施。 6 月、消防法令に規定する市町村の救急業務実施に関する規定削除。 8 月、e メールでの火災、救急等緊急通報の受信を開始した。 11 月、国際協力機構(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。 11 月、消防学校の教育訓練の基準の全部改正。Ⅰ課程とⅡ課程の区別を廃止し標準課程に一本化した上で、救急科に改称。
平成 16 年 (2004)	阿倍野防災センター竣工・業務開始 非医療従事者による AED 使用開始 救急救命士法施行規則の一部改正 タイ国・コンケン県へ職員派遣	5 月、大阪市立阿倍野防災センターが竣工し、業務を開始した。 7 月、非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)使用開始(厚生労働省通知)。 7 月、救急救命士による気管挿管開始。 11 月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。
平成 17 年 (2005)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 消防力の整備指針の制定	2 月、国際協力機構(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。 6 月、消防力の整備指針の制定(消防力の基準を全部改正)。転院搬送の場合は救急隊員 2 名と医師等 1 名で可。消火活動に影響ない範囲で消防隊との兼務が可。
平成 18 年 (2006)	救急救命士法施行規則の一部改正 AED(自動体外式除細動器)を全署に設置	4 月、救急救命士による薬剤投与開始。 9 月、市内全消防署・出張所に AED(自動体外式除細動器)を設置した。
平成 19 年 (2007)	救急隊 5 隊を増隊 救急隊 4 隊を増隊	4 月、救急隊 5 隊を増隊し、55 隊体制になった。 10 月、救急隊 4 隊を増隊し、59 隊体制になった。

平成 20 年 (2008)	救急隊 1 隊を増隊	3 月、救急隊 1 隊を増隊し、60 隊体制になった。
平成 21 年 (2009)	「救急救命処置の範囲等について」の一部改正 消防法の一部改正 大阪市救急安心センターの開設	3 月、救急救命士によるエピペン投与。 5 月、消防法の一部改正（平成 21 年 10 月 30 日施行）。傷病者の救急搬送及びその受け入れをより適切かつ円滑に行うため、都道府県ごとに「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」を策定することなどが義務付けられた。 10 月、国のモデル事業として、指令情報センター内に相談員及び看護師が医師の支援体制のもと救急医療相談に応じる「大阪市救急安心センター」が開設された。
平成 22 年 (2010)	救急安心センター事業の拡大	4 月、名称を「救急安心センターおおさか」に変更し、隣接する 15 市との共同運営を開始し、同年 12 月から翌年 3 月までは国のモデル事業として、対象エリアを大阪府内全域（33 市 9 町 1 村）に拡大した。
平成 23 年 (2011)	救急安心センターの共同運営	4 月、大阪府内全市町村（33 市 9 町 1 村）が共同して救急安心センターおおさかを運営。
平成 24 年 (2012)	機 構 改 革 ウェブサイト開設 救急救命士の処置拡大	4 月、救急施策の企画執行体制強化するために、救急部が創設された。 10 月、応急手当を受講しやすい体制とし繰り返し学べるよう、専用の WEB サイト「ボジョレーに教わる救命ノート」を開設した。 12 月、救急救命士によるビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管開始。
平成 25 年 (2013)	救急搬送支援システム全隊運用 救急資器材管理供給業務（SPD）開始	2 月、傷病者の観察項目を入力することにより、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える、スマートフォンを用いた「救急搬送支援システム」を全隊で運用開始した。 4 月、救急隊が使用する物品の選定、調達・購入方法の設定、発注から在庫・払出・使用・消費・補充に至る一連の物品の流れ（物流）、取引の流れ（商流）及び情報の流れ（情報流）を物品管理システムを使い一元管理する「救急資器材管理供給業務（SPD）」を開始した。
平成 26 年 (2014)	救急救命士の処置拡大	10 月、救急救命士による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与開始。
平成 27 年 (2015)	小児救急支援アプリ（大阪市版）運用開始	9 月、スマートフォン専用アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を開発し、大阪市内を対象地域として、9 月 9 日から運用開始。
平成 28 年 (2016)	小児救急支援アプリ（大阪府版）運用開始	4 月、小児救急支援アプリを救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大。

平成 29 年 (2017)	救急隊 3 隊を増隊	4 月、救急隊 3 隊（うち 1 隊を本部救急隊として運用）を増隊し、63 隊体制になった。
平成 30 年 (2018)	指導救命士運用開始 救命サポートアプリ 運用開始	5 月、救命士等の教育等を担当する指導救命士を運用開始。 4 月、目の前で人が倒れた時、ためらわずに応急手当を実施することができる「救命サポートアプリ」の運用を開始した。
令和元年 (2019)	救急隊 1 隊増隊	10 月、救急隊 1 隊（旭第 2 救急隊）を増隊し、64 隊体制になった。
令和 2 年 (2020)	救急隊 5 隊増隊	4 月、救急隊 3 隊（うち 1 隊を本部第 2 救急隊として運用）を増隊。 10 月、救急隊 2 隊増隊し、69 隊体制になった。
令和 3 年 (2021)	救急隊 1 隊増隊	10 月、本部第 3 救急隊を増隊。本部第 3 救急隊（日勤運用）として運用開始し、70 隊体制になった。
令和 4 年 (2022)	救急隊 1 隊増隊	4 月、救急隊 1 隊（本部機動第 2 救急隊）を増隊し、71 隊体制になった。 この増隊に伴い、本部救急隊の名称が変更された。 本部指導第 1 救急隊（日勤運用） 本部指導第 2 救急隊（日勤運用） 本部機動第 1 救急隊（24 時間運用） 本部機動第 2 救急隊（日勤運用）